

川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略

進行管理表

令和3年（2021年）9月公表

川 島 町

目 次

項 目	ページ	
○評価方法について	1	
○進行管理表		
基本目標 1	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実	2
(1)	結婚支援事業	3
(2)	オリジナル婚姻届・オリジナル出生届の活用	4
(3)	子育て支援拠点施設整備／川島版ネウボラの実施	5
(4)	産前産後子育て支援ヘルパーの整備	6
(5)	予防接種情報提供サービス事業	7
(6)	平成の森あかちゃんの駅充実事業	8
(7)	子どもの遊び場整備事業	9
(8)	放課後児童クラブ学習環境整備事業	10
(9)	不妊治療費助成事業	11
(10)	川島町第3子以降私立幼稚園保育料無料化事業	12
(11)	入園祝い金事業	13
(12)	新たな奨学金制度の創設	14
(13)	調整区域の開発基準の見直し	15
(14)	子育て世帯への住宅リフォーム補助事業	16
(15)	固定資産税の課税免除	17
(16)	きめ細かい教育の推進	18
(17)	学校規模の適正化の推進	19
(18)	川島方式子ども学習支援システムの構築	20
基本目標 2	地域産業の活性化と雇用の創出	21
(19)	川島インターチェンジ南側地区開発事業	22
(20)	企業誘致環境整備事業	23
(21)	ふれあいパークの整備	24
(22)	町特産品のブランド化事業	25
(23)	「かわじまるしえ」の拡充	26
(24)	農地集積事業	27
(25)	新規就農者、営農者への総合支援	28
(26)	農業プロジェクト	29
基本目標 3	子どもからお年寄りまでふれあい、 安心して健やかに暮らせる地域づくり	30
(27)	地域の集まりの場（サロン）の整備	31
(28)	健幸★筋力アップ教室	32
(29)	新たな交通システム導入	33
(30)	買い物支援事業	34
(31)	地域防災力向上事業	35
(32)	災害対応力向上事業	36
(33)	子どもの通学安全確保事業	37
基本目標 4	人を呼び込む観光・交流の活性化	38
(34)	ホームページタウンプロモーション事業	39
(35)	公衆無線LAN「Wi-Fi」の整備事業	40
(36)	マスコットキャラクターPR事業	41
(37)	広域観光周遊ルートの形成	42
(38)	観光マップ作成事業	43
(39)	平成の森公園観光化事業	44
(40)	観光おもてなし事業	45
(41)	観光農園推進事業	46

○評価方法について

当該年度の実績値が目標値に対して、基準値からどの程度達成しているか（達成率）について、下表に基づき評価しています。

達成率計算式 $(\text{現状値} - \text{基準値}) / (\text{目標値} - \text{基準値})$ （小数点第2位以下切捨）

評価		年度別評価基準				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1・2年度
A	目標達成に向け進んでいる	20%以上	40%以上	60%以上	80%以上	100%以上
B	目標達成に向け概ね進んでいる	15～20%未満	30～40%未満	45～60%未満	60～80%未満	75～100%未満
C	目標達成に向けやや遅れがある	10～15%未満	20～30%未満	30～45%未満	40～60%未満	50～75%未満
D	目標達成に向け遅れがあり、改善や工夫が必要と思われる	10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満

※達成率の把握ができていない事業は「-」としています。

※数値基準のない事業や令和1・2年度達成に向けて進めている事業については、当該年度における進捗状況により評価しています。

A：スケジュールどおり実施した

B：スケジュールを概ね実施した

C：スケジュールにやや遅れがある

D：スケジュールに遅れがある、または未実施

基本目標 1 若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実

●概要

基本的方向	「出生率の向上」を目指し、若い世代の結婚の希望をかなえ、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を行う環境づくりと教育を充実する。										
数値目標	指標	基準値 と 目標値 (25年度) (R1年度)		目標 (R2年度)	実績 (26年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	達成率 (%)
	合計特殊出生率	0.80 ⇒ 1.09		1.09	1.04	1.08	0.75	0.89	1.03	0.98	89.9%
評価	B A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている										
評価の理由	合計特殊出生率は、平成28年度に大きく下がった後、直近3年は上昇しており、平成30年度は1を上回った。 平成29年度に開設した子育て支援センター（かわみんハウス）のほか、健康福祉課内に「子育て包括支援センター」も設置され、結婚から妊娠・子育てまでを支援する体制がより一層強化された。 今後も子育て支援策の充実を図るとともに、結婚から妊娠・子育てまでの切れ目のない支援体制を強化し、安心して出産、子育てができる環境づくりに取り組むことで、合計特殊出生率の向上につなげる。										

●重要業績評価指標（KPI）の評価

重要業績評価指標（KPI）	基準値 26年度	目標 R1年度	目標 R2年度	実績 27年度	実績 28年度	実績 29年度	実績 30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	達成率	評価
結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実											
出会いから結婚への一層の支援											
婚姻件数（年間）	228件	250件 (10%増加)	250件	272件	232件	210件	221件	252件	174件	-242.5%	D
子どもを安心して生み育てるための体制整備											
子育て支援拠点利用者数（年間）	-	23,000人	25,000人	-	-	12,864人	21,523人	22,406人	3,129人	10.9%	D
産前産後子育て支援ヘルパー利用登録者数（累計）	-	90人	90人	-	1人	71人	82人	93人	81人	90.0%	B
子育て応援アプリ登録者数（累計）	-	560人	640人	202人	289人	367人	480人	543人	614人	95.9%	B
児童遊園地整備数（累計）	-	25か所 (全地域)	25か所 (全地域)	9か所	15か所	21か所	25か所	25か所	25か所	100.0%	A
不妊治療費助成件数（年間）	-	10件	18件	-	5件	15件	9件	18件	18件	100.0%	A
子育てに切れ目のない支援の充実											
子育てにやさしい経済支援											
第3子以降の出生数（年間）	20人	22人 10%増	22人 10%増	20人	14人	18人	21人	26人	26人	300.0%	A
若者や子育て世代への住宅支援											
子育て世帯の住宅リフォーム補助事業利用件数（累計）	-	20件	26件	-	10件	14件	17件	21件	25件	100.0%	A
固定資産税の課税免除件数（累計）	56件	300件	300件	110件	154件	200件	236件	177件	123件	41.0%	D
川島町の未来を担う教育の充実											
次代を支える力を育てる教育の充実											
学力向上（埼玉県学力・学習状況調査）	-	県平均 以上	県平均 以上	2/14科目 県平均以上	4/14科目 県平均以上	6/14科目 県平均以上	5/14科目 県平均以上	2/14科目 県平均以上	3/14科目 県平均以上	21.4%	D

A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

【外部委員からの評価】

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	結婚支援事業			担当課			政策推進課			
	総 合 戦 略	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実			事業の実施年度					
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	出会いから結婚への一層の支援			●	●	●	●	●	●
概要	○若い独身者同士の出会いを支援します。近隣市町村と連携した婚活イベント等の開催を行います。 ○未婚者の結婚を支援する人（結婚サポーター）を募集し、結婚を希望する独身男女を対象として、結婚相談・お見合い支援を行い、成婚時には褒賞金等を支給します。 ○未婚の子を持つ親同士の交流会を行います。										

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)									
実 施 (D O)	取組内容	○独身者の出会いを支援するため、近隣市町村と連携した婚活イベント等を開催します。 ○未婚者の結婚を支援する「結婚サポーター」による結婚相談・お見合い支援を行います。 ○同様の取り組みを行っている近隣の町と合同で、「結婚サポーター」に対する研修会を開催し、スキルやモチベーションの向上を図ります。			事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費				0			
						国庫補助金				0			
						県支出金				0			
						地方債				0			
						その他				0			
						一般財源				0			
評価指標 (達成率)	婚姻件数(年間)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率		
	(算出根拠)	228件	250件	250件	272件	232件	210件	221件	252件	174件	-242.5%		
	婚姻届の届出件数												

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		結婚サポーターが7名から10名に増え、結婚を支援する体制の充実が図られた。隔月で情報交換会、相談会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は未実施となった。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
		C やや遅れている	
D 遅れている			

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	結婚サポーターは積極的に活動しているものの、なかなか婚活者の登録が伸びない。民間事業者による婚活アプリやイベントが充実する中、婚活者の需要がサポーター制度に向いていないと推察する。制度の維持を図る場合、活動内容の方向転換が必要と考える。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	上述したとおり、制度の根本的な見直しが必要な時期に来ている。令和3年度より、埼玉県が主催する「SAITAMA出会いサポートセンター『恋たま』」に加入するので、婚活者の需要を調査した上で、制度の終了も含めた検討を進める。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	オリジナル婚姻届・オリジナル出生届の活用			担当課		町民生活課			
	総合戦略	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実			事業の実施年度				
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
	具体的な施策	出会いから結婚への一層の支援			●	●	●	●	●	●
概要	○若い世代が婚姻や出産を身近で魅力あるものと感じられるよう、マスコットキャラクター（かわべえ、かわみん）等を用いた町オリジナルの婚姻届、出生届、台紙を作成する。									

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助		(単位：千円)								
実施 (D O)	取組内容	・オリジナル婚姻届 ・出生届の利用者拡大 ・町ホームページに掲載（ダウンロードも可） ・オリジナル婚姻届・出生届を記載台に置き、自由に持ち帰れるようにしてある。 ・届出書をコピーして、オリジナルの台紙に入れてプレゼントしている。	事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		58					
				国庫補助金		0					
				県支出金		0					
				地方債		0					
				その他		0					
				一般財源		58					
評価指標 (達成率)	婚姻件数（年間）	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠) 婚姻届の届出件数	228件	250件	250件	272件	232件	210件	221件	252件	184件	△200.0%

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
D	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）		
	新型コロナウイルスの影響もあってか、全体の戸籍届出件数が減少した（約2割減少）。婚姻届件数も減少したが、オリジナル婚姻届の割合は前年度同程度（約2割）であった。		
	当町で受付した婚姻・出生届件数		
	A 順調	令和2年度	111件（婚姻41件 出生70件）
	B 概ね順調	令和元年度	153件（婚姻61件 出生92件）
C やや遅れている	平成30年度	142件（婚姻49件 出生93件）	
D 遅れている	オリジナル婚姻届の処理件数（令和2年度 婚姻件数184件中 33件）		
	オリジナル出生届の処理件数（令和2年度 出生件数140件中 8件）		

取り組みの課題、懸案等	
改善 (A C T I O N)	婚姻届の件数はここ数年ほぼ横ばいの状況である。（令和元年度は新たな元号になったことによるかけこみ結婚があり、若干増加した）現在、ほとんどの自治体でオリジナルの届出用紙が作成されており、大手企業・漫画のイラストや結婚情報誌の婚姻届の用紙が増えており、町オリジナルの婚姻届用紙が届書として使用されている枚数も例年変わらない状況である。町オリジナル婚姻届の効果による婚姻件数の増加は難しいと考える。
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性） 当町に婚姻届・出生届を提出された方へ、届書のカラーコピーしたものをオリジナル台紙に添えて渡していることは好評であり、婚姻、出産時の記念とはなっている。しかし、届書については結婚を決めた後に用意するものであり、過去5年間の婚姻届件数からオリジナル婚姻届の存在は婚姻届の件数の増加に結びついておらず、婚姻届出件数の増加には効果が低いと考えられる。今後は、事業の目的を変更し、人生の節目の記念の一つとする住民サービスを目的とした事業とし、戦略としての事業を廃止していきたい。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	子育て支援拠点施設整備／川島版ネウボラの実施			担当課		子育て支援課			
	総合戦略	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実			事業の実施年度				
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
	具体的な施策	子どもを安心して産み育てるための体制整備			●	●	●	●	●	●
概要	○町立川島幼稚園廃園後の施設を利用し、安心して出産・子育てができるよう、子育て親子が気軽に集い交流できる場として整備しました。また、川島版ネウボラとして、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない一貫したサポートを提供する体制を構築します。									

実施方法	■ 直接実施 ■ 業務委託等 □ 補助			(単位：千円)							
実 施 (D O)	取組内容	○指定管理者による管理運営を行った。 指定管理者：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 指定期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間） 指定管理委託料：21,069千円/年			事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費			26,574		
		※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日から6月21日まで休館とした。 再開後は、利用者を川島町在住者に限定し、午前・午後の予約・入替制とし、各回25組（50名程度）を上限とした。				国庫補助金		3,544			
						県支出金		2,944			
						地方債					
						その他		113			
						一般財源		20,156			
評価指標 (達成率)	子育て支援拠点施設利用者（年間） (算出根拠) 施設の利用者の数	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
		-	23,000人	25,000人	-	-	12,864人	21,523人	22,406人	3,129人	12.5%

目標達成度	事業の必要性	■ 必要 □ ある程度必要 □ 必要性が低い、ない		
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）		
		平成29年4月1日から、子育て支援総合センター「かわみんハウス」としてオープンした。 令和2年2月29日～令和2年6月21日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館とした。 令和元年度の来館者は22,046人のうち、町内者は6,955人、前年比60.4%減であった。再開後は、利用者を町内在住者に限定し、年間事業計画		
		で予定していたイベントは、一部中止・内容を変更して実施した。 課題解決のため、移動児童館等の新規事業にも取り組んだ。		
		A 順調	B 概ね順調	C やや遅れている

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	令和2年度からの5年間の指定管理者を公募・審査した結果、引き続きシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が管理運営を行っている。現状で課題となっている町内利用者の増加、地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献の取組みについて、更なる充実した内容となるよう協議を行う。
	令和3年度の対応（スクラップ＆ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性） 来館者数の増加をめざし、これまでの実績、利用者の意見及び子ども・子育て支援アンケートを基に新規事業を実施し、事業の内容充実を図る。 かわみんハウスから遠い方が利用できるよう出張教室や日中幼稚園に通っている児童が参加できるようにイベントを午後に開催する、小・中学生向けのイベントや地域ボランティアによる伝承遊び教室等を開催する予定。 新型コロナウイルス感染症の影響で、利用の制限を行い、また、当初計画していたイベントを一部中止・内容を変更して実施したが、状況等を踏まえて、今後の対応を検討する。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	産前産後子育て支援ヘルパーの整備				担当課		子育て支援課			
	総合戦略	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実				事業の実施年度				
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
		具体的な施策	子どもを安心して産み育てるための体制整備				●	●	●	●	●
	概要	○産前・産後ヘルパー事業では、妊娠中・出産後で家事・育児の援助を受けられない家庭にヘルパーを派遣し、食事の支援、洗濯、掃除などの家事援助を提供する。また、ファミリーサポート事業では、保育園等の送迎・児童の預かりを行い、地域で安心して子育てができる環境を調えます。									

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)							
実 施 (D O)	取組内容	○産前産後ヘルパー事業 受託者：社会福祉法人川島町社会福祉協議会 対象者：妊娠中から満1歳未満のものを養育しているもの 支援内容：家事代行 実利用者数：0件 ○ファミリーサポートセンター事業 受託者：社会福祉法人川島町社会福祉協議会 対象者：小学6年生までの児童と同居している者 支援内容：児童の保育園等の送迎・預かり 実利用者数：2名、47件、56.5時間 ○緊急サポートセンター事業 受託者：特定非営利活動法人病児保育を作る会 対象者：小学6年生までの児童と同居している者 支援内容：児童の保育園等の送迎・預かり 実利用者数：0件 ○登録者数：91名（令和2年度）	事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費				1,207			
				国庫補助金				729			
				県支出金				229			
				地方債				0			
				その他				0			
				一般財源				249			
評価指標 (達成率)	産前産後子育て支援ヘルパー利用登録者数（累計） (算出根拠) 事業の登録者数	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
		-	90人	90人	-	63人	71人	82人	93人	81人	90.0%

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない		
評 価 (C H E C K)	B	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）		
		利用者の利便性を考慮し、登録者については、産前産後ヘルパー・ファミリーサポート・緊急サポート事業を兼ねて登録できるように実施した。		
		令和2年度の延べ登録者数は81人（ファミリーサポート・緊急サポート会員含む）。		
		A 順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている		

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	利用が必要な方が利用できるように、今後も周知を継続する。
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性）
	今後も母子保健担当等と連携し、妊婦等への事業の周知を窓口で行う。また、ファミリーサポート・緊急サポート登録者にも周知を図る。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	予防接種情報提供サービス事業			担当課			健康福祉課			
	総 合 戦 略	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実			事業の実施年度					
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	子どもを安心して産み育てるための体制整備			●	●	●	●	●	●
概要	予防接種への不安や負担感を軽減し、安心して子育てできる環境づくりとして、子育て情報を提供するアプリ『子育て応援ナビ』を実施する。										

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)							
実 施 (D O)	取組内容	予防接種スケジュール管理、感染症や予防接種情報、母子保健事業等における情報の提供。			事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費			264		
						国庫補助金	0				
						県支出金	0				
						地方債	0				
						その他	0				
						一般財源	264				
評価指標 (達成率)	子育て支援アプリ登録者数(累計)	基準値	目標(R1年度)	目標(R2年度)	実績(27年度)	実績(28年度)	実績(29年度)	実績(30年度)	実績(R1年度)	実績(R2年度)	達成率
	(算出根拠) 登録者数(累計)	-	560人	640人	202人	289人	367人	480人	543人	614人	95.9%

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない		
評 価 (C H E C K)	B	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)		
		転入や出生届手続き時に健康増進グループ窓口にて、かわみん子育て応援ナビの内容説明し、登録を勧奨している。登録者数については、ほぼ出生数ずつ増加しており、アクセス数についても、月平均6,000件を超えている。		
		A 順調		
		B 概ね順調		
		C やや遅れている		
D 遅れている				

改善(ACTION)	
取り組みの課題、懸案等 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月にかわみん子育て応援ナビをリニューアルし、専用アプリを導入。アプリ導入により、サイトデザインを改良し、既存のサービスに加えて、予防接種のプッシュ通知、子どもの成長記録、妊婦健診の記録等の新規機能を追加した。 母子保健に関する最新情報や子育てに関するイベント情報などの更新頻度が少ないため、情報発信については、今後充実させていく必要あり。 	
令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性) <ul style="list-style-type: none"> 登録者及び月平均アクセス数は一定数の増加がみられており、本事業を通して、子どもの予防接種の管理や子育て情報の発信等、子育て支援対策としては有効であるため今後も継続していく。事業継続にあたり、タイムリーな子育て情報の発信は必要不可欠であるため、子育て支援課、子育て支援総合センターと連携して、情報提供を充実させていく。 	

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	平成の森公園あかちゃんの駅充実事業				担当課		まち整備課				
	総 合 戦 略	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実				事業の実施年度					
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	子どもを安心して生み育てるための体制整備				●	●	●	●	●	●
概要	乳幼児が安心して遊べ、親子同士の交流が活発になるよう、平成の森公園内の授乳施設を再整備します。											

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)								
実 施 (D O)	取組内容	平成の森公園事務所内				事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		0			
				国庫補助金			0					
				県支出金			0					
				地方債			0					
				その他			0					
				一般財源			0					
評価指標 (達成率)	利用件数(年間)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
	(算出根拠) 平成の森公園管理事務所日誌	-	720件	720件	59件	160件	333件	570件	451件	536件	74.4%	

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	B	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		利用は定着している。利用者の評判やアンケートを実施し、評価は高い2以上を得ている。今年度は、また、令和2年4月～5月はコロナウイルス感染症対策の関係で平成の森公園事務所(赤ちゃんの駅)の利用を封鎖したが、その後、感染拡大を予防する新しい生活様式を取り入れ、一人ひとりの基本的感染対策を実践し、10月以降は公園利用が右肩上がりとなり併せて赤ちゃんの駅の利用も増えてきた。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
		C やや遅れている	
D 遅れている			

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	管理人園内巡視時も管理人が不在ではあるが、多くの方が「赤ちゃんの駅」を利用できるように解放している。コロナ感染症対策として、利用者の方も密にならないよう利用されている。今後も、要望意見を聞きながら、コロナ感染症対策を行い取り組んでいく予定である。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性) 今のところ要望等はないが今後利用者の意見をききながら、対応する。 利用目標数値については、昨年度はエアコンの故障や新型コロナウイルスの影響から、利用者が落ち込んだが、今年度の後半になると、新しい生活様式やソーシャルディスタンスを守りつつ、今後もゆったりとした環境のなかで、赤ちゃんのケアをしていただくためにも利用しやすい環境を維持していきたい。 コロナウイルス感染症対策として、出入口付近にアルコール消毒液を設置をして感染予防対策を行っている。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	子どもの遊び場整備事業			担当課		子育て支援課				
	総 合 戦 略	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実			事業の実施年度					
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	子どもを安心して産み育てるための体制整備			●	●	●	●	●	●
概要	○地域の協力和資源を活かし、子育て環境を向上させるため、各自治会の主体的な子育て活動を支援し、地域の児童遊園地を再生します。(全25か所)										

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)																
実 施 (D O)	取組内容	○平成27年度に町内の児童遊園地の遊具の安全点検を実施した。 ○点検結果に基づき、緊急性の高いものから、整備する年度を割り振り、各地区を実施団体として、平成27年度～平成30年度にかけて、児童遊園地の整備（撤去・修繕・新規設置）を実施した。 ○平成27年度：9園、平成28年度：6園、平成29年度：6園、平成30年度：4園（合計25園） ○川島町児童遊園地設置費等補助金交付要綱に基づき、補助を行う。 補助対象：児童遊園地の建設工事・修理・撤去・防犯カメラの設置 補助率：事業費の2分の1以内（上限50千円、ただし、防犯カメラは10千円）					事 業 に か か る 経 費 (R 2 年 度 実 績 額)	財 源 内 訳									
		事業費	11		国庫補助金	0		県支出金	0		地方債	0		その他	0		一般財源
評価指標 (達成率)	児童遊園地整備数（累計） (算出根拠) 整備数/整備希望箇所数	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率						
		-	全地域 (25か所)	全地域 (25か所)	9か所	15か所	21か所	25か所	25か所	25か所	100.0%						

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない										
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）										
		平成27年度から平成30年度までで、町内すべての児童遊園地（25か所）の整備が完了した。大規模整備・大規模修繕希望箇所は当面ない見込み。										
	A 順調	令和2年度実績：鳥西地区児童遊園地修繕実施 事業費22,000円 補助11,000円										
	B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている											

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	地域で管理している全25か所の児童遊園地の整備が完了している。今後は、維持管理について、各地区と協議・検討する必要がある。
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性） 児童遊園地が安全に使用できるよう、地元の要望に基づき、維持管理計画を立て、遊具の安全管理の支援を行う。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	放課後児童クラブ学習環境整備事業			担当課		子育て支援課			
	総合戦略	基本目標	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実			事業の実施年度				
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
		具体的な施策	子どもを安心して産み育てるための体制整備			●	●	●	●	●
	概要	○民営の放課後児童クラブにおける環境改善を図るための補助を行う。								

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)										
実 施 (D O)	取組内容	○町内にある4か所の民設・民営の放課後児童クラブ（学童保育）に補助金を交付。また安全に保育するためのつばさ南放課後児童クラブの外構工事・測量分筆等を実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため町立小学校が令和2年3月2日から5月31日まで臨時休校となったが、その期間中は、各放課後児童クラブで午前中から児童の受け入れを行った。 （補助金） 学童保育かっぱくらぶ 第1：11,803,000円・第2：12,889,000円、 学童保育どりのむくらぶ：14,032,000円 つばさ北学童クラブ：12,174,000円 つばさ南学童クラブ：11,480,000円					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		68,628	
		国庫補助金		20,148							
		県支出金		19,360							
		地方債		0							
		その他		0							
		一般財源		29,120							
評価指標 (達成率)	待機児童	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	待機児童数を0人を維持する	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	-

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない									
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）									
		補助金を交付し、待機児童0人を継続している。 各放課後児童クラブでの違いがあるものの、町内の放課後児童クラブとして保育サービス等の統一が必要である。									
		A 順調									
		B 概ね順調									
C やや遅れている											
D 遅れている											

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	各放課後児童クラブで運営主体、保護者負担(保育料)、運営方法(保育時間や保育内容)について違いがあるため、保育サービス等の統一がなされるよう、放課後児童クラブ研究会において協議・検討する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながらの運営について、消毒用アルコール等物品購入に対する支援を検討する。
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性）
	運営安定化、保育料統一化をめざし、放課後児童クラブ研究会による協議を重ね、報告書にある放課後児童クラブのあるべき形を目指す。 待機児童については引き続き0人を維持する。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	不妊治療費助成事業				担当課			健康福祉課			
	総 合 戦 略	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実				事業の実施年度					
		推進施策	結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実				27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	子どもを安心して産み育てるための体制整備				●	●	●	●	●	●
概要	子どもの誕生を望むご夫婦に対して、不妊治療や不妊検査にかかる費用の助成を行うことで、経済的負担を軽減し妊活を応援する。											

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)										
実 施 (D O)	取組内容	○不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けた方、男性不妊治療を受けた方に、その治療費の一部を助成。 ○平成29年度より、早期不妊治療(妻の年齢が35歳未満である夫婦)に対しては上乘せ助成。また、妻の年齢43歳未満である夫婦が行った不妊検査についても助成。 ○平成30年度より妻の年齢が43歳未満である夫婦が行った不育症検査についても助成。 ○令和元年度より不育症治療について助成。				事業にか か る 経 費 (R 2 年 度 実 績 額)	事業費		1,578					
							国庫補助金		0					
							県支出金		331					
							地方債		0					
							その他		0					
							一般財源		1,256					
評価指標 (達成率)	不妊治療費助成件数(年間)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率			
	(算出根拠) 助成件数	-	10件	18件	-	5件	15件	9件	18件	18件	100.0%			

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		埼玉県不妊治療助成を受けた夫婦が対象であることから、対象者には町の助成事業について、県からも周知されており、連携がとれている。	
		不妊治療以外にも、早期不妊検査や不育症検査も助成しているので、件数は増えている。	
		現在、不妊治療14件、早期不妊治療4件、早期不妊検査5件、不育症検査2件。	
A 順調			
B 概ね順調			
C やや遅れている			
D 遅れている			

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	不妊治療の件数も増えているが、併せて不妊検査や不育症検査を申請する方も増えている。今後、不妊治療の対象者が拡大されたことで、申請件数がさらに増えると思われる。
	現在、不妊治療の年度当たりの上限は10万円となっているが、1年に2~3回不妊治療を実施している方も多いため、上限額についても検討する必要がある。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	婚姻や所得制限の撤廃など対象者が拡大されるため、予算増とした。今後、保険適用となるまでは県の要綱に準じて実施していく予定。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	川島町第3子以降私立幼稚園保育料無料化事業					教育総務課					
	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実										
	推進施策	子育てに切れ目のない経済・住宅支援の実施					27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	子育てに切れ目のない経済・住宅支援の実施					●	●	●	●	●	
概要	○私立幼稚園における第3子以降の保育料を無料化することで、幼稚園教育環境の整備、多子世帯への子育て支援の充実を図る。											

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)												
実 施 (D O)	取組内容	○私立幼稚園における第3子以降の保育料無償化に向け、補助金を交付する。 ○令和元年度で事業完了。					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費					0
								国庫補助金	0				
								県支出金	0				
								地方債	0				
								その他	0				
								一般財源	0				
評価指標 (達成率)	第3子以降の出生数(年間) (算出根拠)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率		
		20人	22人 10%増加	-	20人	13人	18人	21人	26人	-	300.0%		

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が低い、ない									
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)									
		令和元年度をもって、第3子以降の出生率は基準値を上回る結果となり、対象となる多子世帯への経済的負担の軽減が図られた。									
		A 順調									
		B 概ね順調									
C やや遅れている											
D 遅れている											

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	2019年10月より幼児教育の無償化の実施に伴い補助の必要がなくなり、令和元年度に事業が完了した。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	2019年10月より幼児教育の無償化の実施に伴い補助の必要がなくなり、令和元年度に事業が完了した。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	入園祝い金事業					教育総務課					
	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実										
	推進施策	子育てに切れ目のない経済・住宅支援の実施					27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	子育てに切れ目のない経済・住宅支援の実施					●	●	●	●	●	●
概要	○私立幼稚園入園等に係る幼児教育無償化の対象とならない諸経費（制服代等）に対して、保護者の経済的負担軽減を図ることを目的とし、一人当たり30千円を支給する。											

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)												
実 施 (D O)	取組内容	○私立幼稚園入園等に係る幼児教育無償化の対象とならない諸経費（制服代等）に対して、保護者の経済的負担軽減を図ることを目的とし、一人当たり30千円を支給する。 ○令和2年度 支給者数：67人					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		2,010			
								国庫補助金		0			
								県支出金		0			
								地方債		0			
								その他		0			
								一般財源		2,010			
評価指標 (達成率)	第3子以降の出生数(年間) (算出根拠)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率		
		20人	22人 10%増加	22人 10%増加	20人	13人	18人	21人	26人	26人	300.0%		

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない									
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)									
		第3子以降の出生数は基準値を上回る結果となり、私立幼稚園入園児の保護者に対して、経済的負担の軽減が図られた。									
		A 順調									
		B 概ね順調									
C やや遅れている											
D 遅れている											

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	入園祝い金の3万円支給について、保護者への口座振込を行った。 2019年10月より幼児教育の無償化の実施に伴い、保護者の経済的負担軽減されていることから、今後事業の継続について検討が必要である。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	広報やホームページで多くの方に、町の魅力として入園祝い金事業をPRすることで、転入及び定住促進を図り、人口増加につなげる。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	新たな奨学金制度の創設					教育総務課					
	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実										
	推進施策	子育てに切れ目のない経済・住宅支援の実施					27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	子育てに切れ目のない経済・住宅支援の実施						●	●	●	●	●
概要	○埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、埼玉中央農業協同組合、武蔵野銀行と学生向け奨学金事業に係る連携及び協力の協定を結び、教育ローン借入者（定住する学生）を対象に利子助成を実施する。また、日本学生支援機構の第2種奨学金借入者の利子も同様に助成する。											

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)											
実 施 (D O)	取組内容	○平成30年度以降、高校～大学入学時又は在学中に、町と4金融機関（埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、埼玉中央農業共同組合、武蔵野銀行）が協定を締結した教育ローン若しくは、日本学生支援機構奨学金を新たに借入した者に対し、元利金を返金した際の利子の一部を助成する。					事業にかか る経 費 (R 2 年 度 実 績 額)	事業費				19
								国庫補助金				0
								県支出金				0
								地方債				0
								その他				0
								一般財源				19
評価指標 (達成率)	育英資金貸付者数（年間）	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
	(算出根拠) 育英資金貸付者数	-	3人	3人	-	0人	0人	0人	0人	1人	33.0%	

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が低い、ない									
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）									
		新たな奨学金制度の創設として実施している利子助成事業は、川島町が平成28年度に提携した銀行と日本学生支援機構の教育ローンを借入れた者が元利金を返金した際の利子の一部を助成するため、既に別の銀行から教育ローンを受けている者は利子助成の対象外になる。									
		また、奨学金の返済計画は学校を卒業してから作成することが多いことから、平成30年度以降に上記機関から教育ローンを受けた者であっても、子どもが学校を卒業してから1年間は当該事業を利用しないものと考えられる。									
		A 順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている									

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	奨学金の元利金を返還した年度ごとに、川島町に在住していることや税等の滞納がないことが条件となっている。元金を金融機関が担っていることから資金繰りに困ることがなく、一人でも多くの方に利用していただけるよう周知する。 ただし、教育ローンにおいては、借りた翌月から返済が始まり、町の育英資金とは、返還方法が異なるので、町の育英資金を優先的に借りる方が多いのではないと思われる。
	令和3年度の対応（スクラップ＆ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性）
	低所得者の無利子奨学金である育英資金との関連があるので、貸付限度額や金利も同程度に設定したが、今後優秀な人材で川島町に永久定住する方については、借入限度額（174万円）や利子助成額（2%）を超える助成ができないか検討の余地がある。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	調整区域の開発基準の見直し					まち整備課					
	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実										
	推進施策	子育てに切れ目のない経済・住宅支援の実施					27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	若者や子育て世代への住宅支援					●	●	●	●	●	●
概要	○市街化調整区域や農業振興地域で住宅を建てるための開発基準の整備を図る。											

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)							
実 施 (D O)	取組内容	・都市計画法第34条第11号区域指定（2カ所）をした。 ・相談については、毎月数件あり、現在開発行為の申請には繋がってはいないが、事前協議関係は3件の実績があった。					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		0	
		国庫補助金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
		一般財源		0							
評価指標 (達成率)	調整区域の開発基準の整備 (算出根拠)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	B	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）	
		・11号区域指定を行い、11号開発関係の相談は、毎月数件は来ている。事前協議等件数3件、現在、開発行為申請には至っていないが、調整済み又は調整中である。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
		C やや遅れている	
		D 遅れている	

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	・都市計画法が改正となり、2022年4月に法律が施行される、浸水想定区域から都市計画法第34条第11号12号の区域等を除いて行く作業を実施し、指定区域の見直しを行う予定であるが、国より詳細な運用指針が出ていない為、指定方針や住民説明会条例改正等事務手続きについて、今後のスケジュールがタイトとなる。
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性） ・11号12号区域の存続について、令和2年度中に国より詳細な技術的助言が発出予定となり、それを踏まえ早急に施行に向けた準備を進めていく。（区域の見直しに取り掛かる。）

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	子育て世帯への住宅リフォーム補助事業					農政産業課					
	基本目標	若い世代が子育てまで親子にやさしい環境の充実										
	推進施策	子育てに切れ目ない経済・住宅支援の実施					27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	若者や子育て世帯への住宅支援					●	●	●	●	●	●
概要	○住宅のリフォーム、中古住宅や空き家等を購入し、リフォームする子育て世帯に対し、住宅リフォームの補助金を拡充します。											

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)												
実 施 (D O)	取組内容	子育て世帯（世帯の構成員に18歳未満の子どもがいる世帯）に対して、リフォームの100分の10に相当する額を補助する。 補助金上限 20万円 工事金額 20万円以上					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費					463
								国庫補助金	0				
								県支出金	0				
								地方債	0				
								その他	0				
								一般財源	463				
評価指標 (達成率)	子育て世帯の住宅リフォーム補助事業利用件数（累計） (算出根拠)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率		
		-	20件	25件	-	10件	14件	17件	21件	25件	100%		

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が低い、ない										
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）										
		子育て世帯の申請率が低いのは、少子化による子育て世帯の減少とともに、子育て世帯は新築を建てたりアパートに住むことが多いためだと考えられる。よって、この制度の子育て世帯に対する1年間の利用率は低い。 全体の利用率は高く、予算をほぼ執行している。町広報誌に掲載したことなど周知がうまくいったことによるものと思われる。										
		A 順調										
		B 概ね順調										
		C やや遅れている										
D 遅れている												

取り組みの課題、懸案等											
改 善 (A C T I O N)	子育て世帯の申請率が低いのは、制度の周知が足りないだけが原因ではなく、少子化による子育て世帯の減少とともに、子育て世帯は新築を建てたりアパートに住むことが多いためだと考えられる。										
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性）										
	設定した目標を達成したことから、次の支援策の検討を行う。 課題や懸案でも記載したとおり対象世帯の減少や新築住宅への入居という世代の特性から子育て世代の住宅リフォーム制度の充実はあまり効果がないと考える。 住宅リフォーム制度は、町内事業者の振興を図ることも目的としているため事業を継続していく。そのうえで子育て世代への補助の上乗せを廃止する。 住宅は経年劣化により、数年に1度はリフォームが必要になることから、1回限りであった補助を複数回に拡充することを研究する。										

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート													
P L A N (D O)	事業名	固定資産税の課税免除						税務課					
	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実											
	推進施策	子育てに切れ目のない経済・住宅支援の充実						27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	若者や子育て世代への住宅支援						●	●	●	●	●	●
概要	○平成31年度以後新築又は取得された居住家屋の固定資産税の課税免除について、施行期間を延長します。												

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)										
実施 (D O)	取組内容	町ホームページ、ツイッターにおいて制度を広く周知した。また、新築家屋の家屋評価調査の際に、該当するかたに制度を説明し申請を促した。				事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		0					
		【実績】					国庫補助金		0					
				(新規分)			(累計分)		県支出金		0			
				件数	金額		件数	金額	地方債		0			
		H26年度課税 (H25年築)		55件	2,728,502円		55件	2,728,502円	その他		0			
		H27年度課税 (H26年築)		55件	2,833,424円		110件	5,561,926円	一般財源		0			
H28年度課税 (H27年築)		47件	2,074,228円	154件	7,636,154円									
H29年度課税 (H28年築)		46件	2,168,258円	200件	9,804,412円									
評価指標 (達成率)	固定資産税の課税免除件数 (累計)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率			
	(算出根拠) 建築年度ごとに固定資産税の課税免	56件	300件	300件	110件	154件	200件	236件	177件	123件	27.5%			

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
	令和2年度は、固定資産税 (家屋) の課税免除件数 目標 3 0 0 件に対し、実績 1 2 3 件のため、目標を達成することはできなかった。ただし、これは、制度上、平成 3 0 年以降は新規申請を受けていないため、課税免除の適用を受ける件数が徐々に減少していることが影響したものである。		
	A 順調		
	B 概ね順調		
C やや遅れている			
D 遅れている			

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	年々新規申請者は減少し、若者の定住促進に対する動機付けとして十分ではなかった。免除額は7年間で総額5, 1 0 0 万円を超えており、税収減が大きく、費用対効果が低い事業であった。
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	費用対効果が低いことから、条例どおり令和元年度から新たな申請については行わず、令和4年度まで段階的に件数が減少となり、令和4年度末をもって制度終了する。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート								
P L A N (D O)	事業名	きめ細かい教育の推進					教育総務課	
	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実						
	推進施策	川島町の未来を一担う教育の充実					27年度	28年度
	具体的な施策	次代を支える力を育てる教育の充実					●	●
概要	○より細かい教育を行い、学力の向上を図るため、1学級当たりの児童・生徒数を40人から30人程度とする。 ○中学校部活動の社会人指導員の充実を図る。							

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)							
実施 (D O)	取組内容	今年度は西中学校の2年生を3学級にしたことにより、1学級あたり27名程度の児童生徒数になった。これにより、きめ細かな授業や指導を実施し、学力の向上を図った。					事業費		4,546		
		事業にかか る経費 (R2年度実績額)	財 源 内 訳	国庫補助金		0					
				県支出金		0					
				地方債		0					
				その他		0					
				一般財源		4,546					
評価指標 (達成率)	学力向上 (埼玉県学力・学習状況調査) 県平均以上 (算出根拠) (小学校) 4・5・6年 2教科(国語・算数) (中学校) 1年 2教科(国語・数学) 2・3年 3教科(国語・数学・英語) R2 県平均以上科目・学年÷全教科・学年 $3 \div 14 = 0.2142\dots$	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(小学校) 国語、算数の内、算数1学年以外、すべて下回る(中学校) 国語、数学、英語の内、数学で、1学年以外すべて下回る	県平均以上	県平均以上	(小学校) 国語、算数の内、算数1学年以外、すべて下回る(中学校) 国語、数学、英語の内、数学で、1学年以外すべて下回る	(小学校) 国語2学年、算数1学年下回る(中学校) 国語、数学、英語の内、数学で、1学年以外すべて下回る	(小学校) 国語2学年、算数1学年下回る(中学校) 国語2学年、数学1学年、英語2学年下回る。	(小学校) 国語2学年、算数2学年下回る(中学校) 国語1学年、数学2学年、英語3学年下回る。	(小学校) 国語3学年、算数3学年下回る(中学校) 国語2学年、数学2学年、英語2学年下回る。	(小学校) 国語3学年、算数3学年下回る(中学校) 国語2学年、数学2学年、英語1学年下回る。		21.4%

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度) 中学校2年生の国語・数学・英語で県平均を上回った。県学力学習状況調査の特性は前年度からの伸び率である。多くの学年で平均には届いていなかったが、伸び率の面で見てみると小学校5年生、6年生、中学1年生、2年生の国語、中学校2年生、3年生の数学は県の伸び率より高い。特に中学校2年生の平均正答率は国語では全県で1位、数学では3位、英語では5位である(小学4年生の国語・算数、中学2年生の英語は前年度調査をしていないため伸び率はなし)。	
	A 順調		
	B 概ね順調		
	C やや遅れている		
D 遅れている			

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	すべての学年・教科で県平均を上回ることが目標だが、少しずつ県平均に近づけることも肝要であり、長い目で見届ける必要がある。学年・教科によって差はあるが、少しずつ県平均との差を縮めている。また、中学校の部活動においては顧問の負担軽減、生徒の専門的な技術の向上を図るためには、外部社会人指導員の協力が必要不可欠である。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性) 少人数によるきめ細かい教育を継続することで、県平均を上回る学年・教科、県平均との差を縮める学年・教科が増となるようにしていく。特に小学校における基礎基本の定着が大きな影響を及ぼす。また、学級経営も学力向上に大きな影響を与えるため、学校・学年での組織的な学級経営を推進していく。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	学校規模の適正化の推進							教育総務課			
	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実										
	推進施策	川島町の未来を一担う教育の充実					27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	次代を支える力を育てる教育の充実					●	●	●	●	●	●
概要	○学校規模適正化基本計画に基づき、つばさ南小学校とつばさ北小学校の平成30年4月開校に向けた準備を進めるとともに、統合対象校同士の連携を図り、児童の交流の機会を充実する。 ○廃校跡地の利活用について、引き続き統合協議会等で検討を進める。											

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)											
実 施 (D O)	取組内容	・6月26日：小中一貫教育推進協議会事務局による先進校視察 埼玉県坂戸市立城山学園（施設一体型小中一貫教育校） ・7月15日：小中一貫教育推進協議会事務局による先進校視察 埼玉県春日部市立江戸川小中学校（施設一体型小中一貫教育校） ・11月24日：第1回小中一貫教育推進協議会会議及び研修会（講師：元坂戸市立城山小学校長 菊池昭男先生）					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		31					
								国庫補助金		0					
								県支出金		0					
								地方債		0					
								その他		0					
								一般財源		31					
評価指標 (達成率)	統合校の開校	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率				
	(算出根拠) 事業スケジュール	-	-		-	-	統合校開校準備完了	統合校開校	-	-	-				

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない		
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）		
		小中一貫教育教育推進に向けた連携・交流・研究の実施。		
		A 順調		
		B 概ね順調		
C やや遅れている				
D 遅れている				

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	川島町のあるべき小中一貫教育推進に向けた研究を継続する必要がある。
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性） 小中一貫教育推進に向けた具体的な計画等の策定

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	川島方式子ども学習支援システムの構築					教育総務課					
	基本目標	若い世代が魅力を感じる子育て支援の充実										
	推進施策	川島町の未来を一担う教育の充実					27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	次代を支える力を育てる教育の充実					●	●	●	●	●	●
概要	○英語教育の充実、ICT機器活用、かわじま学習塾、基礎学力向上事業を進め、児童・生徒の学力の向上を図る。											

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)								
実施 (D O)	取組内容	○町独自の斉テストを実施し、学習内容の定着確認、分析に基づき問題解決を図る。 ○家庭学習ノートを活用し、家庭学習する習慣を身につける。 ○校内ICT環境の整備を推進する。 ○私塾との連携を図ることにより、学習支援システムを構築し学力向上を図る。 ○ALT及び外国語支援員を配置することにより、英語の学力向上を図る。 ○日本語検定の受験機会を拡大し、学力の基礎となる日本語の学習意欲の向上を図る。 ○家庭学習用ドリルを購入し、家庭学習に役立てることで学力向上を図る。										
		事業にかか る経 費 (R 2 年 度 実 績 額)	事業費								22,759	
			国庫補助金								0	
			県支出金								0	
			地方債								0	
			その他								0	
一般財源								22,759				
評価指標 (達成率)	学力向上 (埼玉県学力・学習状況調査) 県平均以上	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
	(算出根拠) (小学校)4・5・6年 2教科(国語・算数) (中学校)1年 2教科(国語・数学) 2・3年 3教科(国語・数学・英語) R2 県平均以上科目・学年÷全教科・学年 3÷14=0.2142…	(小学校)国語、算数の内、算数1学年以外、すべて下回る(中学校)国語、数学、英語の内、数学で、1学年以外すべて下回る	県平均以上	県平均以上	(小学校)国語、算数の内、算数1学年以外、すべて下回る(中学校)国語、数学、英語の内、数学で、1学年以外すべて下回る	(小学校)国語2学年、算数1学年下回る(中学校)国語、数学、英語の内、数学で、1学年以外すべて下回る	(小学校)国語2学年、算数1学年下回る(中学校)国語2学年、数学1学年、英語2学年下回る。	(小学校)国語2学年、算数2学年下回る(中学校)国語1学年、数学2学年、英語3学年下回る。	(小学校)国語3学年、算数3学年下回る(中学校)国語2学年、数学2学年、英語2学年下回る。	(小学校)国語3学年、算数3学年下回る(中学校)国語2学年、数学2学年、英語1学年下回る。	21.4%	

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		中学校2年生の国語・数学・英語で県平均を上回った。県学力学習状況調査の特性は前年度からの伸び率である。多くの学年で平均には届いていなかったが、伸び率の面で見てみると小学校5年生、6年生、中学1年生、2年生の国語、中学校2年生、3年生の数学は県の伸び率より高い。特に中学校2年生の平均正答率は国語では全県で1位、数学では3位、英語では5位である(小学4年生の国語・算数、中学2年生の英語は前年度調査をしていないため伸び率はなし)。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
		C やや遅れている	
D 遅れている			

取り組みの課題、懸案等	
改 善 (A C T I O N)	英語力の向上に向けて、英語検定受験推進事業を実施しているが、中学生は受験者数183名中、2次試験合格者は109名と合格率が50%を上回った。事業を小学5、6年生まで拡大したので、さらなる英語力向上のための教育支援整備を図りたい。また、日本語の学習意欲の向上を図るため、小学校5年生(6級)、6年生(5級)を対象とした日本語検定受験推進事業を実施し228名が受験したが、6年生(5級)については全国平均を下回っているため、日本語力向上のための教育支援整備を図る必要がある。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	外国語支援及び日本語力向上のための、学力向上政策の実施を検討する。 GIGAスクール構想を実現するために、ICT環境整備及びICTを活用した学習活動の充実を図っていく。

基本目標2 地域産業の活性化と雇用の創出

●概要

基本的方向	「社会減の縮小（転出超過の是正）」を目指し、川島インターチェンジ周辺の産業団地の整備・拡充を図るとともに、農業の活性化を図り、魅力ある「しごと」を創出する。									
数値目標	指標	基準値 と 目標値	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率 (%)
	従業者数 (事業所単位)	9,528人⇒9,800人 《272人増》 (24年度) (R1年度)	12,000人	-	11,065人	-	-	-	-	-
	法人町民税均等割が課税さ れている事業所数	580社⇒638社 《10%増》 (24年度) (R1年度)	638社	607社	604社	605社	609社	640社	644社	110.3%
評価	A									
	A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている									
数値目標	新規就農者数	1人 ⇒ 延べ15人 (26年度) (R1年度)	15人	5人	6人	10人	12人	12人	12人	78.6%
評価	B									
	A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている									
評価の理由	<p>圏央道川島インターチェンジ周辺（川島インター産業団地、三島地区）の企業誘致が図られたこともあり、従業者数、事業所数ともに増加している。</p> <p>新規就農者数については、比企管内で比較しても多い状況である。就農は大きな決断であるため、引き続き、JA、農業委員会、指導農家によるサポートを活用し、技術面、資金面を含めて支援していく。</p> <p>町特産品のブランド品開発やかわじまるしえの開催など、町の農業、商業を盛り上げていく取組の数値は上昇しているため継続して取り組んでいく。</p>									

●重要業績評価指標（KPI）の評価

重要業績評価指標（KPI）	基準値 26年度	目標 R1年度	目標 R2年度	実績 27年度	実績 28年度	実績 29年度	実績 30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	達成率	評価
雇用創出につながる企業誘致の推進											
企業集積拠点の拡充											
企業誘致数（累計）	-	7件	7件	1件	4件	6件	7件	7件	7件	100.0%	A
農業の活性化と担い手の確保											
特産品・農産物等のブランド力の向上											
新規ブランド品開発数（累計）	-	10品目	11品目	0品目	0品目	4品目	7品目	8品目	8品目	72.7%	C
かわじまるしえ来場者数（人/回） （※30年度まで朝市開催回数（年間））	12回	200人/回	600人/回	12回	14回	16回	16回	602人/回	92人/回	15.3%	D
農地集積の体制構築と若い後継者の確保											
農業公社設立（累計）	-	1か所	1か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	-	-
農地集積か所（507㎡以上の区画割）（累計）	1か所	40か所	80か所	4か所	16か所	28か所	34か所	64か所	76か所	94.9%	B
人・農地プラン新規作成か所数（累計）	-	3か所	3か所	0か所	0か所	0か所	0か所	2か所	2か所	66.6%	C

A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

【外部委員からの評価】

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	川島インターチェンジ南側地区開発事業			担当課		まち整備課				
	総合戦略	基本目標	地域産業の活性化と雇用の創出			事業の実施年度					
		推進施策	雇用創出につながる企業誘致の推進			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	企業集積拠点の拡充			●	●	●	●	●	●
概要	○交通利便性の向上による開発需要に応じた産業基盤づくりを推進すべく、川島インターチェンジ南側地区の造成により、川島インター産業団地の拡充を図ります。										

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)											
実 施 (D O)	取組内容	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助					事業費					3,300
		○県田園都市づくり課等との協議及び調整に必要な農林協議資料の作成等を行った。 ・川島インターチェンジ南側地区における農林協議資料作成支援業務委託を発注 (業務内容) ・市街化区域の規模及び配置に関する事項 ・都市計画と農林漁業に関する土地利用調整 ・周辺農林漁業への影響と対策 他 ○地権者協会との調整(三者会議、役員会、地権者全体説明会の開催等)を行った。	事業にかかるとる経費 (R2年度実績額)	財源内訳	国庫補助金		0		県支出金		0	
					地方債		0		その他		0	
					一般財源		3,300					
評価指標 (達成率)	(算出根拠)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

評価	目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない									
C H E C K (D O)	D	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)										
		○当地区の開発をスタートラインに乗せることを重視し、全体計画約69haはそのままに、まずは29haを先行して進める方針に変更した。そのため、県田園都市づくり課等との農林協議に必要な資料の修正及び精査を行い、再協議を行った。										
		○地権者協会・開発事業パートナー(日東商事グループ)・町の三者において、事業の進捗報告及び意見交換を行い、意思統一を図った。										
		A 順調										
	B 概ね順調											
	C やや遅れている											
	D 遅れている											

改 善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等										
	○区域の殆どが「農業振興地域農用地区域(青々地域)かつ農業投資事業受益地で事業完了から8年未経過地」であることから、県及び国との協議において時間を要する。										
令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)											
○継続して県関係課等と協議を進め、県農業政策課及び国関東農政局から農林協議の了承を得る。											
○開発事業面積が20ha以上あるため、県条例において環境影響評価の対象となることから、調査計画書を申請し、手続き及び調査を開始する。											

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	企業誘致環境整備事業			担当課		まち整備課				
	総合戦略	基本目標	地域産業の活性化と雇用の創出			事業の実施年度					
		推進施策	雇用創出につながる企業誘致の推進			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	企業集積拠点の拡充			●	●	●	●	●	●
概要	○企業が進出しやすい環境整備を推進し、企業誘致を積極的に促進します。										

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)											
実 施 (D O)	取組内容	○川島インターチェンジ南側地区の開発について、方針変更に伴い農林協議資料を修正精査し、県関係機関等と再協議を進めた。					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	財 源 内 訳	事業費		3,300	
		国庫補助金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
		一般財源		3,300								
評価指標 (達成率)	企業誘致数(累計)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
	(算出根拠)	-	7件	7件	0件	4件	6件	7件	7件	7件	100.0%	

評価	目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない								
C H E C K ()	A	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)									
		○川島インターチェンジ周辺(川島インター産業団地、三島地区)の都市的未利用地は無い状況である。									
		○川島インターチェンジ南側地区の開発をスタートラインに乗せることを重視し、全体計画約69haはそのままに、先ずは29haを先行して進める方針に変更した。そのため、県田園都市づくり課等との農林協議に必要な資料の修正及び精査を行い、再協議を行った。									
		○インターチェンジ周辺という立地ポテンシャルの高さから、現在も企業立地ニーズは高い状況である。									
	A 順調										
	B 概ね順調										
	C やや遅れている										
	D 遅れている										

改 善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等									
	○川島インターチェンジ南側地区は、区域の殆どが「農業振興地域農用地区域(青々地域)かつ農業投資事業受益地で事業完了から8年未経過地」であることから、県及び国との協議において時間を要する。									
令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)										
○川島インターチェンジ南側地区は、継続して県関係課等と協議を進め、県農業政策課及び国関東農政局から農林協議の了承を得る。										
○企業誘致については、開発事業パートナー(日東商事グループ)と連携し、土地利用計画を基に協議を進める。										

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	ふれあいパークの整備				担当課			まち整備課		
	総合戦略	基本目標	地域産業の活性化と雇用の創出				事業の実施年度				
		推進施策	雇用創出につながる企業誘致の推進				27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
		具体的な施策	企業集積拠点の拡充				●	●	●	●	●
概要	○川島インターチェンジ南側地区の事業認可を受け、地域交流ゾーンに人と人がふれあい、観光・文化・交流の拠点となる「ふれあいパーク」の設置を進めます。										

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)													
実 施 (D O)	取組内容	○川島インターチェンジ南側地区の調整が進んでいないため、調整等は未実施である。					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費					0	
								国庫補助金						0
								県支出金						0
								地方債						0
								その他						0
								一般財源						0
評価指標 (達成率)		基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率			
	(算出根拠)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない										
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)										
		○川島インターチェンジ南側地区の開発をスタートラインに乗せることを重視し、全体計画約69haはそのままに、まずは29haを先行して進める方針に変更した。そのため、県田園都市づくり課等との農林協議に必要な資料の修正及び精査を行い、再協議を行った。										
		○ふれあいパークについては、県担当課との協議において「産業団地内での必要性」を求められており、整理ができていない。										
		A 順調	B 概ね順調	C やや遅れている	D 遅れている							

改善	取り組みの課題、懸案等										
改 善 (A C T I O N)	○川島インターチェンジ南側地区は、区域の殆どが「農業振興地域農用地区域（青々地域）かつ農業投資事業受益地で事業完了から8年未経過地」であることから、県農業政策課及び国関東農政局との協議において時間を要する。										
	○ふれあいパークについては、先行して進める開発面積が29haとなったことで公共用地面積の確保が難しい状況である。さらに、県担当課との協議において指摘されている「産業団地内での必要性」について整理が必要である。										
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)										
○川島インターチェンジ南側地区は、継続して県関係課等と協議を進め、県農業政策課及び国関東農政局から農林協議の了承を得る。											
○ふれあいパークについては、事業の進捗を踏まえ、計画内容について見直しも含め検討する。											

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	町特産品のブランド化事業			担当課		農政産業課				
	総合戦略	基本目標	地域産業の活性化と雇用の創出			事業の実施年度					
		推進施策	農業の活性化と担い手の確保			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	特産品・農産物等のブランド力の向上			●	●	●	●	●	●
概要	<p>○町の特産品の6次産業化に向けた戦略策定を行います。</p> <p>○米や野菜など、町の農産物の付加価値をいっそう高めるとともに、ご当地グルメなどを開発し、消費拡大に繋がります。</p> <p>○いちご、いちじくなどは、観光農園などで直売のほか、付加価値を向上させるため、加工品などの研究を重ね、ブランド化を進めます。</p>										

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助		(単位：千円)								
実施 (D O)	取組内容	○平成29年度に策定した川島町6次産業化戦略をもとに、試作品の加工・販売に繋げていくため、協力いただける加工者や販売者の発掘を行うとともに、販売先の確保を進めた。 令和元年度新商品開発数：1品目（日本酒） （業務用ジェラート・スマイルスティック・いちじくシフォンケーキ・醤油いちじくバターサンド・いちじくアイスバー・いちじくカレー・かわみんサンド・日本酒） 食品加工事業者とのマッチング数：5品目 （いちじく梅酒・いちじくロールケーキ・いちじくブランデー・いちじくポテトサラダ・いちじくカットフルーツ） 令和2年度は原材料費として専代を支出	事業にかかるとる経費 (R2年度実績額)	事業費		19					
				国庫補助金		0					
				県支出金		0					
				地方債		0					
				その他		0					
				一般財源		19					
評価指標 (達成率)	新規ブランド品開発数 (累計)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠)	-	10品目	11品目	0品目	0品目	4品目	7品目	8品目	8品目	72.7%

評価	目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
C A 順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている	C	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）		
		やる気のある生産者や生産組合に関しては、食品加工事業者と連携し、新商品の開発を進め、計画通りの進捗が図られている。今後も、ブランド化を見据え、調整を図っていくとともに、さらなる新商品の開発を進めていく。		
		一方、生産者が高齢化しており、新たな取組を行うことに対して二の足を踏む傾向がある。		

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等	
	商品の加工・販売を進めるには、販売先の確保が最重要課題であり、個別の交渉など地道な作業が必要である。	
	派生商品の地元での販売ルートの確保を行い、地域で育て上げる努力を行う必要がある。 商品開発に係る補助金が令和2年度で終了したことから、新たな支援策を研究する。	
令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性）		
新たな、マッチングを進めることや、派生商品を地元で販売できるように農産物直売所や商工会事業者と調整を図っていく。		

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	「かわじま朝市」の拡充			担当課		農政産業課			
	基本目標	地域産業の活性化と雇用の創出			事業の実施年度					
	推進施策	農業の活性化と担い手の確保			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	特産品・農産物等のブランド力の向上			●	●	●	●	●	●
概要	○出店者や出店内容の条件の緩和、開催日や開催場所を増やすなど、「かわじま朝市」の拡充を図ります。									

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助		(単位：千円)									
取組内容	毎月第3日曜日庁舎前で「かわじまるしえ」として開催。イベントと併せて開催し、来場者アップを図っている。川島町のおいしいものを買える・食べられる場所。また、ハンドメイド作家の招聘と遊びの場を提供し魅力ある場としての定着を目指す。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、従来のまるしえは中止となった。その代替策として以下のとおりミニマルシェを開催した。 第1回 (R2.10.21) 150人 156,600円売上 第2回 (R2.11.25) 74人 118,410円売上 第3回 (R2.12.23) 51人 110,970円売上 合計 275人 385,980円売上			事業にかかるとる経費 (R2年度実績額)	事業費		0					
					国庫補助金		0					
					県支出金		0					
					地方債		0					
					その他		0					
					一般財源		0					
評価指標 (達成率)	「かわじまるしえ」来場者数 (※平成30年度までは開催回数) (算出根拠)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
		12回	200人/回	600人/回	12回	14回	16回	16回	602人/回	92人/回	15.3%	

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
D	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)		評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度) 出店者へ個別に出店を促し、協力を仰いだことで、魅力あるものとなっている。川島の魅力と、町民の交流の場としての役目を果たすことができた。 新型コロナでまるしえが開催できなかったことから来客数が伸びなかったため。
	A 順調		
	B 概ね順調		
	C やや遅れている		
	D 遅れている		

改善 (ACTION)	取り組みの課題、懸案等
	新型コロナウイルスの影響もあり、マルシェの開催ができていない状況。 事業がマンネリ化してきていることから、一定期間ごとに刷新を行う必要がある。
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性) 武蔵丘短期大学との連携を行い、地産地消の促進を行うことや、KJブランド認証品等の販売を行い、地元ブランド商品として定着させる。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート								
P L A N (D O)	事業名	農地集積事業	担当課				農政産業課	
	総合戦略	基本目標	地域産業の活性化と雇用の創出	事業の実施年度				
		推進施策	農業の活性化と担い手の確保	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
		具体的な施策	農地集積の体制構築と若い後継者の確保	●	●	●	●	●
	概要	○将来にわたって優良農地を引き継いでいくため、農業の企業化（法人化）を図るとともに、人・農地プランの活用や農業公社設立などに取り組み、農地集積を計画的に行います。						

実施方法	■ 直接実施 ■ 業務委託等 □ 補助		(単位：千円)								
実 施 (D O)	取組内容	埼玉型ほ場整備と併せて、農地中間管理事業の説明会を下小見野地区に対して行った。 また、集積が進んだ地区の耕作条件を改善するための基盤整備を行った。 ・川島地区 畦畔撤去、均平化事業（14.4ha） ・人・農地プラン作成済地区数：2地区（平沼・一本木）	事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費				6,565			
				国庫補助金				3,651			
				県支出金				0			
				地方債				0			
				その他				0			
				一般財源				2,914			
評価指標 (達成率)	農地集積か所（50アール以上の区画割）	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠)	4か所	40か所	80か所	10か所	16か所	28か所	34か所	64か所	76か所	94.9%

評価	目標達成度	事業の必要性	■ 必要 □ ある程度必要 □ 必要性が低い、ない	
C H E C K ()	B	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）		
		農地中間管理事業を活用した農地集積・集約を推進した。令和2年12月1日の賃貸では、町全体の集積面積は約690haとなっており、面積では県内3位、集積率では県内1位となっている。また、農地耕作条件改善事業を活用し区画拡大を実施しており、50アール区画の圃場も増えている。		
		A 順調		
		B 概ね順調		
		C やや遅れている		
		D 遅れている		

改 善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等	
	区画の拡大には、国の制度を活用し耕作者や所有者の負担なしで事業を進めているが、耕作機械の大型化で未改良の道路が農作業効率化への支障となっている。	
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性）	
区画の大規模化を進めるには、大型の機械を投入できる大規模農家の参加が必須となるが、未改良の道路の課題があり、担い手からの要望も多い。そのため、町としては農地中間管理事業や人・農地プランで集積が整った地域に対し、国の助成制度を活用して基盤整備を進める予定である。		

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	新規就農者、営農者への総合支援			担当課		農政産業課				
	総合 戦略	基本目標	地域産業の活性化と雇用の創出			事業の実施年度					
		推進施策	農業の活性化と担い手の確保			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	農地集積の体制構築と若い後継者の確保			●	●	●	●	●	●
概要	○若い農業就農者が自立した農業経営をできるよう支援をします。										

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)											
実 施 (D O)	取組内容	町の新規就農者は令和元年度に13名となり、令和2年度では新規就農の希望者からの相談は数件受付けたが、就農には至らず、増加とはならなかった。 令和2年度中にいちごといちじくの就農希望者を対象とした川島町明日の農業担い手育成塾が開設され、入塾した塾生を今後は新規就農者として認定をしていく予定となる。なお、入塾予定者が現在では1名であるため、令和3年度では1名の新規就農者の増加が見込まれる。 埼玉県や埼玉中央農業協同組合と連携を図り、情報の共有に務め、また、川島町明日の農業担い手育成塾も活用をし、新規就農者が就農しやすい環境を整えていく。					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	財 源 内 訳	事業費		10,875	
		国庫補助金		0								
		県支出金		10,875								
		地方債		0								
		その他		0								
		一般財源		0								
評価指標 (達成率)	新規就農者数(累計)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
	(算出根拠) 新規就農総合支援事業費	1人	15人	15人	5人	6人	10人	12人	12人	12人	78.6%	

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない										
評 価 (C H E C K)	B	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)										
		新規就農者数は増えており、比企管内でも新規就農者が多い地域で、周辺の市町村の状況を鑑みても進んでいると考えられるが、町が掲げた目標値達成は非常に困難な状況である。令和2年度中には、いちごといちじくを対象とした川島町明日の農業担い手育成塾が開設されたため、連携をし、新規就農者が就農しやすい環境を整えていく。										
		A 順調										
		B 概ね順調										
		C やや遅れている										
D 遅れている												

改善(ACITON)											
取り組みの課題、懸案等 新規就農の希望者は増加傾向にあり、相談も多数受付けたが、就農することは大きな決断であるため、安易な気持ちで就農をすることがないよう、相談の段階から各機関(県農林・農協)と連携をし、ミスマッチを防ぐ必要がある。											
令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性) 新規就農希望者に対する相談を各機関(県農林・農協)と連携をして行い、また、各種支援事業(JAが実施している各種制度も含む)について、チラシなどを活用し、広く周知していく。また、農地拡大、栽培技術、販売先等の相談に対応するため、JA、農業委員会、指導農家によるサポーター制度を活用していく。 町の特産品であるいちご・いちじくについては、担い手育成塾の取組を開始されたため、技術面、資金面を支援していく。											

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート								
P L A N (D O)	事業名	農業プロジェクト	担当課				農政産業課	
	基本目標	地域産業の活性化と雇用の創出	事業の実施年度					
	推進施策	農業の活性化と担い手の確保	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	農地集積の体制構築と若い後継者の確保	●	●	●	●	●	●
概要	○農業者の高齢化に伴い、担い手不足が心配される中、人・農地プランを策定し、5年後・10年後の将来誰がどの農地を使っていくか地区の話し合いの中で進めていく。また、女性向けの農業体験や研修を実施し、女性ならではの視点で、農業に魅力を発信してもらう「農業女子」の育成を図ります。							

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助		(単位：千円)								
実施 (D O)	取組内容	人・農地プランの実質化に向けたアンケートや、担い手の変更に伴い人・農地プラン検討委員会を開催した。 また、現在、町で活動している「さいたま農村女性アドバイザー」と意見交換を行い、新たに活動していただける方へ打診し、内諾をいただいた。	事業にかかるとる経費 (R2年度実績額)	事業費		0					
				国庫補助金		0					
				県支出金		0					
				地方債		0					
				その他		0					
				一般財源		0					
評価指標 (達成率)	人・農地プランの新規策定か所数	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠)	-	3	3	1	1	2	2	2	2	66.6%

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
B A 順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)		
	新型コロナウイルスの影響により、人・農地プランについては、地域の話し合いの場が設定できなかった。また、女性の農業参画で新たな女性農業者のアドバイザーを1名登録することができた。		

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等
	人・農地プランの策定には地域に推進するとりまとめ役が必要であるが、推進役が不在の地区が多い。農業女子については、農業者全体が減少している中で、女性の農業参入者を確保するのが困難。
	令和3年度への対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	人・農地プランの策定については、地域ごとにプランの策定ができるよう機運を高めつつ、農地中間管理機構を活用した農地集積を推進する。また、さいたま農村女性アドバイザーと意見交換をしながら、女性の農業参画の施策を検討していく。また、新たなアドバイザーの登録を推進する。

基本目標3 子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり

●概要

基本的方向	「定住の希望をかなえる生活環境」を目指し、すべての町民が心身ともに健康長寿を実現し、安全、安心な地域をつくり、新たな公共交通システムを導入し、利便性の高い暮らしが送れる生活基盤を整備する。									
数値目標	指標	基準値 (24年度)	目標値 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (26年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	達成率 (%)
	町民の健康寿命 (埼玉県基準：65歳に達した 県民が要介護2以上になるまでの 期間)	男性16.94年 女性19.68年	⇒ 男女とも1年 以上向上	男女とも1年 以上向上	16.41 19.56	16.90 19.97	17.21 20.08	17.15 19.91	17.48 20.48	—
評価	A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている									
評価の理由	<p>平成30年度の健康寿命は現時点で公表されていないが、平成29年度は前年と比較して、男女ともに下降した。各種取組では、かわべえいきいき体操や生活支援体制整備事業の通いの場を地域の集まりの場としたことにより、通いの場が大きく増加した。次年度以降も順次増えていく見込みであり、町民の健康意識の向上やコミュニティの醸成につながっている。</p> <p>かわみんタクシーは、住民の足として利用は増加しており、特に高齢者の外出機会の創出につながっている。</p> <p>令和元年10月の台風被害により災害に対する意識が高まっている中で、町の防災対策を強化するとともに、ご近所で助け合う互助、住民自らが自分の身を守る自助の力を高めるため、自主防災組織の防災訓練を開催し、互助・自助の意識を普及させていく必要がある。</p> <p>こうした取組を進めることにより、地域で人々がふれあう機会や町民の外出の機会が創出されており、安心して暮らせる地域づくりに寄与している。</p>									

●重要業績評価指標 (KPI) の評価

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 26年度	目標 R1年度	目標 R2年度	実績 27年度	実績 28年度	実績 29年度	実績 30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	達成率	評価
子どもからお年寄りまで地域でふれあう機会の拡充											
小さな拠点の創出と健康づくりの支援											
地域の集まりの場 (サロン) の整備数 (累計)	-	3か所	44か所	0か所	1か所	2か所	5か所	33か所	33か所	75.0%	B
健康★筋力アップ教室参加者数 (累計)	-	810人	810人	125人	250人	370人	757人	926人	831人	102.6%	A
誰もが安心して暮らせる地域づくり											
交通弱者に対する支援											
新たな公共交通	-	新設路線 運行継続	新設路線 運行継続	運行内容 決定	運行開始	新設路線 運行開始	新設路線 運行継続	新設路線 運行継続	新設路線 運行継続	-	-
町民・地域・関係機関と連携した安全と安心の地域づくり											
自主防災会による訓練実施件数 (年間) ※30年度までは自主防災会設立数	53か所	7件	7件	全地域 (57か所)	全地域 (57か所)	全地域 (57か所)	全地域 (57か所)	7件	1件	14.2%	D
「こども110番の家」に対する子どもたちの認識	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	A

A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

【外部委員からの評価】

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	地域の集まりの場の整備	担当課				健康福祉課			
	基本目標	子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり				事業の実施年度				
	推進施策	子どもからお年寄りまで地域でふれあう機会の拡充	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度		
	具体的な施策	「小さな拠点」の創出と健康づくりの支援				●	●	●	●	●
概要	子どもからお年寄りまでが気軽に集まれる「小さな拠点」を創出し、お年寄りやお母さんたちと乳幼児が一緒になって子育てを行うなど、地域で支え合う仕組みを展開する。									

実施方法	■ 直接実施 ■ 業務委託等 ■ 補助		(単位：千円)												
実 施 (D O)	取組内容	<p>○今までは、コミュニティサロン八幡（パティオ）とオレンジカフェ伊草、生活支援体制整備事業における集いの場の累計を計上。今回、通いの場（かわべえいきいき体操）を累計に計上する。かわべえいきいき体操は、介護予防体操であるが、各地区の集会所で実施しており、体操の前後でお茶飲みなどを行い住民同士の交流の場となっている。</p> <p>○コミュニティサロン八幡（パティオ）は、H28年4月から住民主体による子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に立ち寄れるサロンとして立ち上がった。</p> <p>○オレンジカフェ伊草は、H29年4月から認知症を患っている当事者やその家族の方が気軽に相談できる場として、認知症サポーターが運営する集いの場が立ち上がった。</p> <p>○生活支援体制整備事業において、H30年2月に各地区（6地区、八幡団地）に住民同士の支え合い・助け合いを広める活動グループを立ち上げた。各グループは、各地区において集いの場を開催。公民館単位や、集会所単位で実施している。</p>	事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費				4,989							
				国庫補助金				1,669							
				財源内訳				県支出金				845			
								地方債				0			
								その他				1,181			
								一般財源				1,294			
評価指標 (達成率)	地域の集まりの場の整備数 (算出根拠)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率				
		-	3か所	44か所	0か所	1か所	2か所	5か所	33か所	33か所	75.0%				

目標達成度	事業の必要性	■ 必要 □ ある程度必要 □ 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	B	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）	
		R2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言により、通いの場（かわべえいきいき体操）の活動が全会場で中止となった。感染拡大が落ち着きをみせた一時期において、希望のあった一部の集会所で感染予防策を講じながら活動を再開した。既存の通いの場の開催がほとんどできない状況であり、新規立ち上げや新たなサポーターの募集・養成には至らなかった。活動休止期間中には、自宅で体操が継続できるよう体操DVDを作成し配布したり、手軽にできる運動や栄養に配慮したレシピを掲載したチラシを配布するなどし、健康への取組みや心掛が途切れないようにした。	
		集いの場（生活支援体制整備）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により集いは再開できていない。そのような中、集いに代わり、住民同士の繋がりを保つ取組み（チラシ作成・配布、個別訪問、電話かけ、フードパントリー）を行った。	
		※R2年度実績 かわべえいきいき体操18か所、生活支援体制整備13か所、オレンジカフェ1か所、パティオ1か所＝計33か所	
A 順調			
B 概ね順調			
C やや遅れている			
D 遅れている			

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等
	通いの場、集いの場ともに住民主体の場でありボランティアにより運営されている。ボランティアを増やす必要があるが、なかなか新たな担い手の発掘が難しい状況である。 また、コロナ禍での通いの場の在り方、運営の方法について考えていく必要がある。
	令和3年度の対応（スクラップ＆ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性）
	通いの場（かわべえいきいき体操）は、令和3年度もサポーター養成講座を年2回実施。養成人数20名を目標とする。新型コロナウイルス感染予防のため、講座内容を見直し、短縮版や講師が出張形式で講座を開催するなど新たな形で取り組んでいく。 集いの場（生活支援体制整備）においては、各地域に主体性を持ってもらうため町からの具体的な目標は示していない。「支え合い・助け合いが根づいた優しい町づくり」をスローガンに令和3年度も各地域で目標を立て取り組んでもらう。 上記2つとも新たな担い手発掘のため、健康増進グループでの事業時にPRすることや、国保加入者（退職者）に対しアプローチを行い新たな担い手確

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	健幸★筋力アップ教室			担当課		健康福祉課			
	基本目標	子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり			事業の実施年度					
	推進施策	子どもからお年寄りまで地域でふれあう機会の充実			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	「小さな拠点」の創出と健康づくりの支援			●	●	●	●	●	●
概要	○個人個人の体力や身体の状態に応じた個別プログラムによる筋力アップトレーニングと栄養サポートを行う教室を実施し、健康づくりを支援する。									

実施方法	■ 直接実施		業務委託等		□ 補助		(単位：千円)				
実 施 (D O)	取組内容	○平成27年度から平成29年度までは埼玉県補助金を活用して事業実施。 ○新規参加者に対する教室は令和元年度で終了。 ○令和2年度は自主グループとして活動継続（自主グループ：7団体） ・個々に応じた運動プログラムの提供 ・筋力アップトレーニング、有酸素運動の実施 ・栄養指導 ・体力測定の評価 ・継続参加者の自主グループ運営支援				事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		105		
		国庫補助金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
		一般財源		105							
評価指標 (達成率)	健幸★筋力アップ教室参加者数（累計）	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠) 教室参加者の累計	-	810人	810人	125人	250人	370人	757人	926人	831人	102.6%

評価	目標達成度	事業の必要性	□ 必要 □ ある程度必要 ■ 必要性が低い、ない	
C H E C K ()	A	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）		
		本事業は平成27年度から開始し、一定の事業効果がみられたことから新規参加者の教室については令和元年度で終了とし、令和2年度は、筋力アップ教室の継続参加者について自主グループとして活動を継続している。継続参加者の主体性及び自主性を図るため、教室のサポーターを中心に教室を展開している。		
		本事業を通して、体力年齢の改善、運動量の増加、目標歩数の維持などの効果が見られている。		
		実績の算出については、平成30年度より算出方法を変更した。平成27～29年度は新規者数のみの数値であったが、平成30年度以降は継続活動者を加えた数を累計で計算した数値である。		
	A 順調			
	B 概ね順調			
	C やや遅れている			
	D 遅れている			

改善	取り組みの課題、懸案等
A C T I O N ()	令和2年度はコロナ禍において教室が十分に実施出来ない状況であった。自主グループ運営については住民主体で活動することが出来ている。運動継続にあたり、継続参加者のモチベーション維持・向上への対策が課題である。
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性） 筋力アップ教室については、運動継続していくことが健康増進及び医療費抑制に効果的であることが検証できた。今後は、筋力アップ教室の継続参加者については、自主グループとして活動を継続していく。参加者の主体性を引き出しつつ、自主グループ支援として、自主グループのサポーター育成支援を行っていく。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	新たな交通システム導入			担当課		政策推進課			
	基本目標	子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり			事業の実施年度					
	推進施策	誰もが安心して暮らせる地域づくり			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	新たな交通システム導入			●	●	●	●	●	●
概要	○費用負担とのバランスを図りながら、デマンド交通など新たな公共交通システムの導入を進めます。									

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助		(単位：千円)								
実 施 (D O)	取組内容	○オンデマンド交通「かわみんタクシー」を運行し、町民の日中の移動を支援する。 ○元気なバス需要創出モデル事業を活用し、東武バス川島町役場-若葉駅東口線を新設、運行を継続する。 ○川島町地域公共交通網形成計画に基づき、町内の公共交通網の利便性を一体的に向上させる取組を推進する。 ○町内の主要公共交通である路線バスの利用促進を図るイベントを実施する。	事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		30,727					
				国庫補助金		0					
				県支出金		0					
				地方債		0					
				その他		0					
				一般財源		30,727					
評価指標 (達成率)	新たな公共交通運行開始 (平成28年度)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠)	-	新設路線運行継続	新設路線運行継続	運行内容決定	運行開始	新設路線運行開始	新設路線運行継続	新設路線 運行継続	新設路線 運行継続	100.0%

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		オンデマンド交通「かわみんタクシー」は、登録者数、利用実績ともに伸びており、登録者数は3,100人を越え、運行件数も1日に40件を越える日もある。特に高齢者の利用が多く、出かける機会の創出につながっている。 元気なバス需要創出モデル事業(埼玉県と川島町で運行経費を1/2ずつ補助)を活用した東武バス川島町役場-若葉駅東口線については、令和2年度が補助金の最終年度となっている。R2.4月よりルート及びダイヤの変更を実施して利用促進を図ったが、本事業終了後の東武バスウエストによる自主運行の判断には至らなかった。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
C やや遅れている			
D 遅れている			

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等
改 善 (A C T I O N)	かわみんタクシーについて、多くの方にご利用いただいているが、町の財政的負担も増加している。今年度、利用実績の分析調査を行い、今後も持続可能な制度とするべく運行内容の変更案を作成した。 東武バス川島町役場-若葉駅東口線については、町単独補助が終了した後も路線が継続できるよう、利用者増加を図る必要がある。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	かわみんタクシーは、新型コロナウイルス感染症の収束状況を踏まえ運行内容の変更を図る。これまでの利用実績等の詳細な分析により、持続可能な制度となるような制度とする。 東武バス川島町役場-若葉駅東口線については、町単独補助終了後に自主運行路線となるよう、評価指標の計測を行いながら利用者増加を図る。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート												
P L A N (D O)	事業名	買い物支援事業				担当課			農政産業課			
	総 合 戦 略	基本目標	子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり				事業の実施年度					
		推進施策	誰もが安心して暮らせる地域づくり				27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	交通弱者に対する支援				●	●	●			
概要	○日常生活において身近な買い物に不便を感じている高齢者等に対して、見守り活動を兼ねて、買い物サービスを提供する事業者を支援します。											

実 施 (D O)	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)									
	取組内容	利用者がないため事業を一時休止。					事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		0	
								国庫補助金		0	
								県支出金		0	
					地方債			0			
					その他			0			
					一般財源			0			
評価指標 (達成率)	移動販売の実施	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠)	-	移動販売開始	-	-	移動販売開始	移動販売継続	移動販売休止	-	-	-

評 価 (C H E C K)	目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が低い、ない								
	—	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)									
		利用者がないため、事業を一時休止。									
A 順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている											

改 善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等										
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)										

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	地域防災力向上事業	担当課				総務課				
	基本目標	子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり				事業の実施年度					
	推進施策	誰でも安心して暮らせる地域づくり				27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	町民・地域・関係機関と連携した安全と安心の地域づくり				●	●	●	●	●	●
概要	○自主防災会の防災備蓄等の購入に対し、町が補助を実施し、防災意識の高揚及び地域の団結力の向上を図り、安心な暮らしを守ること で、定住の促進につなげます。										

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 (単位：千円)															
実 施 (D O)	取組内容	【各自主防災会への補助制度】 各自主防災会による活動や防災用品など、費用の一部を補助し、活動への支援を行う。 令和2年度 支出実績 3,670,000円 【防災リーダー養成講座】 各自主防災会加入世帯の防災意識向上と、共助における防災体制の強化を図るため、各自主防 災会の人材育成を図る。 令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により中止 【各地区防災訓練】 各自主防災会による防災訓練をとおして、防災意識の向上を図る。 令和2年度養成講座参加者 出丸地区防災訓練 約80名										事 業 に か か る 経 費 (R 2 年 度 実 績 額)	事業費		3,670	
		国庫補助金		0												
		県支出金		0												
		地方債		0												
		その他		0												
		一般財源		3,670												
評価指標 (達成率)	自主防災会による訓練実施件数 (※平成30年度までは設立地 区数)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率					
	(算出根拠) 自主防災会の訓練実施件	7件	7件	7件	57ヶ所	57ヶ所	57ヶ所	57ヶ所	7件	1件	14.2%					

評価	目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない									
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)										
		新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの地区の訓練が中止になったほか、町実施の水防訓練及び、防災訓練も中止となった。 そのため、実働訓練の代わりに、啓発活動に重点を置き、水害時の広域避難や、警戒レベルの設定など防災意識の向上を図った。										
		A 順調										
		B 概ね順調										
C やや遅れている												
D 遅れている												

改 善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等										
	水害時における、町の体制、広域避難等を設定し、避難方法等を整理を行った。今後は、より多くの人に水害時の避難行動を周知を行うとともに、地元 自主防災会での役割を明確にし、理解・協力をしていただく必要がある。										
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)										
<ul style="list-style-type: none"> 継続的に、共助となる自主防災会が実施する防災・災害活動について中心的な役職を作るなど指導を行う。 自主防災会が円滑に活動を実施するため、補助対象の拡大を検討する。 											

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	災害対応力向上事業	担当課				まち整備課・総務課			
	基本目標	子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり			事業の実施年度					
	推進施策	誰もが安心して暮らせる地域づくり			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	町民・地域・関係機関と連携した安全と安心の地域づくり			●	●	●	●	●	●
概要	○災害時の拠点として、平常時は野球場など町民のスポーツ・レクリエーションとしての施設を兼ね備えた災害避難所を整備します。									

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助		(単位：千円)								
実 施 (D O)	取組内容	令和元年度は、国土交通省が計画する河川整備計画の進捗状況の確認と計画内にある水防拠点の整備内容について、町の災害拠点施設及び計画とのすりあわせを行うべく継続して関係機関との協議を行った。 なお、拠点施設を設置するために必要な敷地面積が広大になることや、地域防災計画との関連について調整が必要であるため、総務課と連携して計画を検討している。	事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費		0					
				国庫補助金		0					
				県支出金		0					
				地方債		0					
				その他		0					
				一般財源		0					
評価指標 (達成率)	(算出根拠)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

評価	目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
C A 順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている	C	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)		
		災害時の拠点となる災害避難所の整備については、令和元年台風19号の災害に伴い入間川流域緊急治水対策プロジェクトへの位置付けを行い、また、荒川水系流域治水協議会におけるプロジェクトの1つとして位置付けを行った。 町としては、避難場所の設置位置について出丸地区区長への説明を行ったが、地域防災計画への位置付けや整備に向けたスケジュール等の具体的な計画の策定について調整中であり、併せて町民が日頃からスポーツやレクリエーションの施設として利用できるように引き続き関係部署と協議し、必要な敷地面積の算定や施設の位置等を検討する必要がある。		

改善	取り組みの課題、懸案等
A C T I O N ()	災害避難場所については、町民に理解と協力を得て進めていく必要があり、地域及び地権者への説明を実施していく。 町民がスポーツやレクリエーションに利用ができる施設とするには、広大な敷地面積が必要となることから、敷地面積の算定に併せ面積が確保出来る場所等の選定をしていく必要がある。
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性) 災害時の拠点となる災害避難場所の整備については地域防災計画に位置付けを行い、国の河川整備計画にある水防拠点施設に関連して整備を行うことから、関係部署や荒川上流河川事務所と引き続き協議を進めており、また、入間川流域緊急治水対策プロジェクトとの調整を行ったうえで町の施設整備計画を策定する。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート								
P L A N (D O)	事業名	子どもの通学安全確保事業	担当課			総務課		
	基本目標	子どもからお年寄りまでふれあい、安心して健やかに暮らせる地域づくり	事業の実施年度					
	推進施策	誰でも安心して暮らせる地域づくり	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	町民・地域・関係機関と連携した安全と安心の地域づくり	●	●	●	●	●	●
概要	○町民、地域、関係機関が連携して、子どもたちが安心して通学ができる環境を守るよう見守り活動やこども110番の家の看板やマップを作成し、子どもを育てやすい環境の向上を図ります。							

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)							
実 施 (D O)	取組内容	【こども110番の家】 新規登録の促進及び新規登録者へ看板・ベスト・腕章配布 【見守り隊】 新規登録の促進及び新規登録者への帽子等の配布 【有志活動団体への支援】 中山地区の通学安全のため組織された中山スクールガードや、谷中防犯活動団体・小見野防犯パトロール隊等地域で活動いただいている団体へ支援等を行う。			事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費			409		
		国庫補助金				0					
		県支出金				72					
		地方債				0					
		その他				0					
		一般財源				337					
評価指標 (達成率)	「こども110番の家」に対する児童の認識	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠) 町内全地区に設立	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%

評 価 (C H E C K)	目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない		
	A	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)			
児童とこども110番の家協力者との信頼関係の構築や、児童が110番の家と認識できるように、こども110番の家協力者によるあいさつ運動等を実施しているほか、各地域の青色防犯パトロールなどに活動支援を行い、防犯意識向上を図っている。					
	A 順調				
	B 概ね順調				
	C やや遅れている				
	D 遅れている				

改 善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等	
	各団体の新規登録者が少なく、今後の維持運営に影響が出る恐れがある。	
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)	
・地域防犯活動の意識向上や、新規登録しやすい環境づくり等、防犯活動に対する支援充実を行う。		

基本目標4 人を呼び込む観光・交流の活性化

●概要

基本的方向	「転入のきっかけとなる交流の活性化」を目指し、転入・移住の第一歩として本町を訪れてみたいという人を増やす。										
数値目標	指標	基準値 (26年度)	目標値 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率 (%)
	観光・交流人口	60,000人 ⇒ 100,000人		100,000人	53,000人	66,519人	53,920人	69,113人	56,177人	6,273人	6.30%
評価	D	A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている									
評価の理由	<p>観光・交流人口は、春のイベント（ちびっこフェスティバル、バラの小径まつり、健康福祉まつり）を「Kawajima Spring Festival」に集約し同日開催としたこと、秋の「農業商工祭」が雨天であったことから、前年に比べて10,000人以上落ち込んでいる。</p> <p>各種取組は、観光資源である平成の森公園でイベント等による来園者数の増加、町のホームページのアクセス数が目標を上回ったことなどから、町への積極的なタウンプロモーションの展開や新たな観光資源の創出などが図られ、観光・交流の活性化に寄与している。</p> <p>今後も引き続き町の資源の活用や積極的な情報発信など、人を呼び込むための施策を展開していく必要がある。</p>										

●重要業績評価指標（KPI）の評価

重要業績評価指標（KPI）	基準値 26年度	目標 R1年度	目標 R2年度	実績 27年度	実績 28年度	実績 29年度	実績 30年度	実績 R1年度	実績 R2年度	達成率	評価
川島町の魅力発信と認知度向上											
積極的なタウンプロモーションの展開											
町公式ホームページアクセス数（年間）	約15万件	40万件以上	40万件以上	177,267件	233,846件	313,911件	349,868件	471,744件	738,633件	184.5%	A
公衆無線LAN「Wi-Fi」の整備数（累計）	-	5か所	5か所	0か所	3か所	5か所	5か所	5か所	11か所	220.0%	A
ゆるキャラグランプリ順位	-	100位以内	-	897位	528位	203位	178位	75位	-	-	A
新たな観光資源の発掘と交流の創出											
ツーリズム&地域発信型観光・交流の推進											
観光農園来園者数（年間）	-	15,000人	15,000人	-	-	13,180人	12,455人	12,010人	-	80.0%	B
観光農園拠点整備数（累計）	-	1か所	1か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	-	D

A:順調 B:概ね順調 C:やや遅れている D:遅れている

【外部委員からの評価】

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート								
P L A N (D O)	事業名	ホームページタウンプロモーション事業	担当課			政策推進課		
	総合戦略	基本目標	人を呼び込む観光・交流の活性化			事業の実施年度		
		推進施策	川島町の魅力発信と認知度向上	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
		具体的な施策	積極的なタウンプロモーションの展開	●	●	●	●	●
	概要	○コンテンツは、都会に一番近い田舎、観光や子育てアプリ、地域お勤め情報、空き家情報、求職情報、転入者の話、農産物の紹介、若い独身者をターゲットにした移住・転入促進PRなど、町民だけでなく、国内外の人がみて「訪れたい」「住みたい」と思えるようなホームページに、随時、更新していく。						

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助		(単位：千円)									
実 施 (D O)	取組内容	「正確な情報」を提供するための対応 各課による定期的なホームページ点検の実施 ホームページ操作上の注意点等文書啓発 随時、エラー等掲載内容点検実施		事業にか か る 経 費 (R 2 年 度 実 績 額)	事業費				1,241			
		財 源 内 訳	国庫補助金					0				
			県支出金					0				
			地方債					0				
			その他					650				
一般財源				591								
評価指標 (達成率)	町公式ホームページアク セス数(セッション数)	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
	(算出根拠) Google Analytics	15万件	40万件	40万件	177,267件	233,846件	313,911件	349,868件	471,744件	738,633件	184.5%	

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		町ホームページのリニューアル(H28.3)前と比較すると、ホームページのセッション数は4倍以上、大幅に伸びている。 ※H27: 177,267 → R2(実績): 738,633 セッション数が増加した要因は、新型コロナウイルス関連の情報提供ページへのアクセス増による影響が大きい(よく見られたページトップ10の内、新型コロナ関連ページが1位、2位、5位、7位にランクイン)。	
		A 順調	
		B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている	

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等
	ホームページ作成者(各職員)の編集スキル・伝わる力の向上。
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	新型コロナウイルスによる町HPアクセス増加を一つのチャンスに、その他のページもタイムリーで目を引くタイトル、わかりやすい表現などに注力し、積極的な情報提供を図る。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	公衆無線LAN「Wi-Fi」の整備事業			担当課			政策推進課		
	基本目標	人を呼び込む観光・交流の活性化			事業の実施年度					
	推進施策	川島町の魅力発信と認知度向上			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
	具体的な施策	積極的なタウンプロモーションの展開			●	●	●			●
概要	○観光アプリの利用促進を目的に、公共機関等での無料Wi-Fiスポットを整備していきます。									

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)									
実 施 (D O)	取組内容	○公衆無線LAN「Wi-Fi」スポットの設置を行う。 【設置場所】 平成28年度：川島町役場、コミュニティセンター、遠山記念館 平成29年度：いこいの広場（川島農産物直売所）、フラットピア 令和2年度：川島町役場（庁舎内）、コミュニティセンター（施設内） 川島町民会館、フラットピア（施設内） 旧出丸小学校、旧小見野小学校			事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費				3,910			
		財 源 内 訳	国庫補助金				2,411						
			県支出金				0						
			地方債				0						
			その他				0						
			一般財源				1,499						
評価指標 (達成率)	公衆無線LAN「Wi-Fi」の整備数（累計）	基準値	目標（R1年度）	目標（R2年度）	実績（27年度）	実績（28年度）	実績（29年度）	実績（30年度）	実績（R1年度）	実績（R2年度）	達成率		
	（算出根拠） 設置箇所数	-	5か所	5か所	-	3か所	5か所	5か所	5か所	11か所	220.0%		

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない		
A	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度）			
	目標値である既設の5か所に加え、令和2年度は町民会館や廃校施設等の屋内にWi-Fi整備を行った。			
	平成29年度時点で整備したWi-Fi設備の利用については、安定して月あたり1,000件を超える利用があり、令和元年度同様、多い月では1,900件を超える利用があった。拠点ごとの利用数を見ると、町外からの利用者も多い「いこいの広場（農産物直売所駐車場）」の利用数が約35%、「川島町役場」の利用者が約25%、「コミュニティセンター」の利用者が約10%、「フラットピア」の利用者が約30%、「遠山記念館」の利用者は1%に満たない状況となっている。直売所利用者の7割が地元住民であると仮定した場合に年間で2,000人の町外の方に利用されていると考えられ、令和2年度の貢献度は前年度同様約2%と考えられる。利用者数は令和元年度以降も安定した数値を記録している。			
	令和2年度、各公共施設内のWi-Fi設備を整備したため、今後は利用数の更なる増加が見込まれる。			
A 順調 B 概ね順調 C やや遅れている D 遅れている				

改善	取り組みの課題、懸案等
改 善 (A C T I O N)	令和2年度において、役場本庁舎を含めた公共施設“内”のWi-Fi整備を重点的に行った。既設Wi-Fi設備についてももちろんであるが、新設した施設毎に対応したSSIDやPASSWORDの周知を行うとともに、その利活用方法についてもPRする必要がある。（サテライトオフィスとしての活用など）
	令和3年度の対応（スクラップ＆ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性） 公共施設へのWi-Fi整備については概ね完了している。平成29年度までに整備したものに加え、令和2年度新たに整備を行ったため、今後総合的な利用者数の増加が見込まれる。ただし現状のままでは、設置工事費用・使用料等に対する効果が十分に得られているとは言い難いため、令和3年度は上記したような利活用方法等PRを行い、利用者数の更なる増加を目指す。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート								
P L A N (D O)	事業名	マスコットキャラクターPR事業	担当課			農政産業課		
	総合戦略	基本目標	人を呼び込む観光・交流の活性化			事業の実施年度		
		推進施策	川島町の魅力発信と認知度向上	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
	具体的な施策	積極的なタウンプロモーションの展開	●	●	●	●	●	●
概要	○町民や商工会と協力して「かわべえ」「かわみん」のキャラクター商品開発を行い、町外に向けて本町の存在感をPRします。							

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)									
実 施 (D O)	取組内容	・HPでPR ・投票者にマグネットやシールの配布 ・総合窓口等で順位を順次報告 ・ポスター作成			事業にか か る 経 費 (R 2 年 度 実 績 額)	事業費				455			
		財 源 内 訳	国庫補助金	0									
			県支出金	0									
			地方債	0									
			その他	0									
一般財源	455												
評価指標 (達成率)	ゆるキャラグランプリ順位100位	基準値	目標(R1年度)	目標(R2年度)	実績(27年度)	実績(28年度)	実績(29年度)	実績(30年度)	実績(R1年度)	実績(R2年度)	達成率		
	(算出根拠)	900位	100位以内	—	897位	528位	203位	178位	75位	—	—		

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		町内施設等にポスターを掲示し、周知をしたことで100位以内に入り、目標を達成することができた。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
C やや遅れている			
D 遅れている			

改善	取り組みの課題、懸案等
改 善 (A C T I O N)	町のマスコットキャラクター(かわべえ・かわみん)は町内外の方から認知されてきているが、ゆるキャラブームは減退し、ゆるキャラグランプリで上位をとることにメリットがない。 ゆるキャラサミットは令和2年度をもって終了したことなどもあり、当事業の必要性は低い。
	マスコットキャラクターのリニューアルについては、町民意見を踏まえ既存のキャラクターとの整合性を再確認し、リニューアルストーリーがまとまる設定を再検討する。啓発品や町の刊行物で新キャラクターを登場させ、認知度を高めていく。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート										
P L A N (D O)	事業名	広域観光周遊ルートの形成			担当課			農政産業課		
	総合戦略	基本目標	人を呼び込む観光・交流の活性化			事業の実施年度				
		推進施策	新たな観光資源の発掘と交流の創出			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
		具体的な施策	ツーリズム&地域発信型観光・交流の推進			●	●	●	●	●
	概要	○広域的な観光周遊ルートの形成を検討します。(観光スポットの例、遠山記念館、平成の森公園、日本一長いバラのトンネル、ホンダエアポート、廣徳寺大御堂、観光農園、白鳥飛来地、すったてなど)								

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)									
実 施 (D O)	取組内容	県主催のトラベルマート等を活用し、観光事業者へPRを行い、町内観光事業者とのマッチングを行うことや、町内イベントの周知を行い賑わいを創出する。 また、令和元年11月に金箔しょうゆパークがオープンしたことから、事業者を有効活用し、町外からの集客を増やす。			事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費					0		
		財 源 内 訳	国庫補助金			0							
			県支出金			0							
			地方債			0							
			その他			0							
			一般財源			0							
評価指標 (達成率)	交流人口	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率		
	(算出根拠) 観光入込客調査(遠山記念館、春まつ	60,000人	100,000人	100,000人	53,000人	66,519人	53,920人	69,113人	56,177人	6,273人	6.3%		

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない		
評 価 (C H E C K)	D	評価の理由(達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)		
		今年度は、農業商工祭をはじめとするイベントが新型コロナの影響で中止となり観光入込客数が大幅に減少した。イーグルバスと連携し、川越から川島への観光ルートを作成し、ツアーを運行した。		
		A 順調		
		B 概ね順調		
		C やや遅れている		
D 遅れている				

改 善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等	
	イベントは雨などの天候に左右されやすい。雨でも、遊べる場所の確保など柔軟な対応が求められる。 川島町のみで観光客の1日滞在は難しいため、川越都市圏と連携した周遊ルートを形成を検討する必要がある。	
	令和3年度の対応(スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)	
引き続き、トラベルマート等を活用し、観光事業者と町内事業者のマッチングを行い、町内周遊ルートの形成を行う。また、イーグルバスとの連携協定により、町内周遊ルートの形成を図り、町の魅力をPRしていく。		

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	観光マップ作成事業			担当課			農政産業課			
	総 合 戦 略	基本目標	人を呼び込む観光・交流の活性化			事業の実施年度					
		推進施策	新たな観光資源の発掘と交流の創出			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	ツーリズム&地域発信型観光・交流の推進			●	●	●	●	●	●
概要	○町の観光地を掲載した観光マップを作成し、町内外へ広くPRします。										

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)							
実 施 (D O)	取組内容	川島の魅力のPRとして、観光マップを作成し来ていただくためのツールとして活用。見やすい、わかりやすい、扱いやすいマップを目指す。 また、既存の場所だけでなく、様々なイベントで活用し、PRする。				事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費				0
		財 源 内 訳	国庫補助金				0				
			県支出金				0				
			地方債				0				
			その他				0				
			一般財源				0				
評価指標 (達成率)	マップ配布箇所	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠)	6か所	30か所	30か所	8か所	24か所	24か所	24か所	30か所	30か所	100.0%

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	A	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		川越市観光協会、県、その他イベント開催時、町内観光事業者において、観光パンフレットを配布している。 町内地図としての利用も多く、毎年約10,000部ほど印刷している。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
		C やや遅れている	
D 遅れている			

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等
	現在の観光パンフレット「めぐ〜る」は、サイクリスト向けとして、ポケットサイズで小さく折りたたみである。そのため、観光用として用いるには、扱いづらいので今後使いやすいものに改定していく。
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	町内事業所へ配布しているため、すぐになくなってしまふ。今後ホームページでデータを公開し、携帯等から見られるようにする。また、だれでも印刷できるようなものになりたい。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	平成の森公園観光化事業			担当課			まち整備課			
	総 合 戦 略	基本目標	人を呼び込む観光・交流の活性化			事業の実施年度					
		推進施策	新たな観光資源の発掘と交流の創出			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	ツーリズム&地域発信型観光・交流の推進			●	●	●	●	●	●
概要	○平成の森公園を拠点としてイベント開催による公園内の演出等、また、平成の森公園内の整備を図ります。										

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)							
実 施 (D O)	取組内容	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			事業にかか る経費 (R2年度実績額)	事業費				0	
		・kawajima Spring Festival ~かわじま まるごと 春まつり~ ・バラの小径祭り バラの小径週間 ・バラによる相互交流事業 につきましては、コロナ感染症の影響により上記イベントについては 全て中止となった。	財 源 内 訳	国庫補助金		0					
				県支出金		0					
				地方債		0					
				その他		0					
				一般財源		0					
評価指標 (達成率)	(算出根拠) 平成の森公園管理事務所日	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
		-	160,000人	160,000人	119,254人	126,300人	127,000人	132,000人	124,150人	104,252人	65.2%

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	C	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)	
		・コロナ感染症の影響により計画していたイベントについては全て中止とした。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
		C やや遅れている	
D 遅れている			

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等 ・コロナ感染症の影響により計画していたイベントについては全て中止とした。
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性) ・春まつり期間中に平成の森公園を拠点とし、町のイベント (ちびっこフェスティバル・バラの小径祭り・健康福祉まつり) を同日開催とし会場を一体化することにより、人を呼び込む観光・交流の活性化を目指し、大勢のかたにイベントを提供する予定であったが、令和3年度においては、コロナ感染症対策の為、イベントは開催しない。令和4年度計画については、令和3年12月以降状況をみながら、準備を進めていく予定である。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート									
P L A N (D O)	事業名	観光おもてなし事業	担当課				農政産業課		
	総合戦略	基本目標	人を呼び込む観光・交流の活性化	事業の実施年度					
		推進施策	新たな観光資源の発掘と交流の創出	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	ツーリズム&地域発信型観光・交流の推進	●	●	●	●	●	●
概要	○サイクリングの憩いのスポット（休憩所）やパブリックトイレ等を整備し、来町者の増加につなげます。 ○公共施設や観光施設等に統一感のある案内看板を設置します。								

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)							
実 施 (D O)	取組内容	町外者への情報発信として、いこいの広場やサイクルラック設置店などへのパンフレット展示を実施（継続） 川越都市圏まちづくり協議会、比企地域元気アップ実行委員会を活用し来町者へのPRを実施（継続）		事業にかか る経 費 (R 2 年 度 実 績 額)	事業費				0		
		財 源 内 訳	国庫補助金		0						
			県支出金		0						
			地方債		0						
			その他		0						
			一般財源		0						
評価指標 (達成率)		基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率
	(算出根拠)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

目標達成度	事業の必要性	<input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない	
評 価 (C H E C K)	C	評価の理由（達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度） 各種イベントに参加し、パンフレットの配布を実施した。 川越都市圏まちづくり協議会や比企元気アップ会議において、町外者向けの事業（観光キャンペーンなど）を予定していたが、新型コロナの影響で事業が中止となったため。	
		A 順調	
		B 概ね順調	
		C やや遅れている	
		D 遅れている	

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等
	サイクリストは、民間施設（コンビニエンスストア）を利用して休憩しており、新たな休憩所やトイレを設置する必要があるか検討する必要がある。
	令和3年度の対応（スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性）
	過去にサイクルラックの設置補助を行い、概ね完了している。今ある資源を活用し、民間施設と連携する方法で来町者へのPRを引き続き実施していく。 平成30年度より、埼玉県自転車競技連盟主催によるクリテリウム大会を開催している。今後も実施していく中で、さらに充実したイベント内容にしていく。

令和 2 年度 総合戦略 事業評価シート											
P L A N (D O)	事業名	観光農園推進事業			担当課			農政産業課			
	総 合 戦 略	基本目標	人を呼び込む観光・交流の活性化			事業の実施年度					
		推進施策	新たな観光資源の発掘と交流の創出			27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
		具体的な施策	ツーリズム&地域発信型観光・交流の推進			●	●	●	●	●	●
概要	○いちご、いちじく、ブルーベリーなど摘み取りができる観光農園の推進を図るとともに、新たな観光スポットとして、観光農園の拠点となる農業公社等による農業ふれあい拠点を推進します。										

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助			(単位：千円)								
実 施 (D O)	取組内容	観光農園を開園したい方向けの補助金交付を行う。 現在川島町で、4園の観光農園があり、いちご・ブルーベリー農園が開園されている。 東松山農林振興センターだよりで、管内の観光農園・直売所情報をPRしている。また、県のホームページに掲載し、周知を図っている。 観光農園の情報を広報紙、ホームページに掲載し、公開している。			事業費					0		
					財 源 内 訳	(R2年度実績額)	国庫補助金		0			
							県支出金		0			
							地方債		0			
							その他		0			
							一般財源		0			
評価指標 (達成率)	観光農園来園者数	基準値	目標 (R1年度)	目標 (R2年度)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	実績 (30年度)	実績 (R1年度)	実績 (R2年度)	達成率	
	観光農園拠点整備数 1箇 (算出根拠)	-	15,000人	15,000人	-	-	13,180人	12,455人	12,010人	-	80.0%	

目標達成度	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> ある程度必要 <input type="checkbox"/> 必要性が低い、ない			
評 価 (C H E C K)	B	評価の理由 (達成度、数値の評価、基本目標の数値目標への貢献度)			
		様々な情報の提供を行い、町内の観光農園へ行きやすい環境をつくっている。 新型コロナウイルスの影響もありいちご狩りの開園ができず来園者がいなかったため。			
		A 順調			
		B 概ね順調			
		C やや遅れている			
D 遅れている					

改善 (A C T I O N)	取り組みの課題、懸案等
	観光農園化するための初期投資には多額の資金が必要であることや、観光農園運営のための知識・経験・人材確保も必要なことから、近年は新たな開設者はいない状況。
	令和3年度の対応 (スクラップ&ビルドの考え方を踏まえた具体的な方向性)
	町内の観光農園と連携を図りながら、季節ごとに様々な収穫体験のできる、川島町オリジナルの農業体験を開発し来場者の増加を図る。また、新規農園整備については、民間企業の参入に向けて、開発手法を検討していく。